



第32回日本腹部放射線学会
会長 陣崎 雅弘
慶應義塾大学医学部 放射線科学教室（診断）

第32回日本腹部放射線学会を2018年5月25日（金）と26日（土）の両日、神奈川県鎌倉市の鎌倉プリンスホテルにて開催させていただきます。

日本腹部放射線学会は、画像病理対比をベースとして症例検討をする学会です。近年、画像診断の進歩は著しく、学ぶことが非常に多くなっていますが、医学の基本は症例検討にあり、放射線科学の根底が画像病理対比であることは論を待ちません。その意味では、医学がどのような進歩を遂げてもこの学会の重要性は変わらないように思います。前身の腹部放射線研究会は奈良医大の打田日出夫先生が設立され、1990年に第1回研究会が秋田で開催されたときのことは今でもよく覚えております。それ以来、留学中を除いて毎回出席してきた私にとりまして、当番会長を担わせて頂くことは大変光栄なことでございます。

さて、鎌倉で画像関連の学会が開催されるのは初めてではないかと思えます。鎌倉プリンスホテルは湘南海岸に面しており、鎌倉と藤沢を結ぶ江ノ電の中間点にあります。会場のカーテンを開けると七里ヶ浜の海と江之島を一望することができます。

初日の懇親会では、バンドの方々にサザンオールスターズや松任谷由実の湘南もしくは海にゆかりのある曲を演奏して頂きますので、耳でもこの土地を楽しんで頂けたらと思います。そして、長年理事長を務められました森宣先生にご退任のご挨拶を頂きますので、ポスターセッション終了後ぜひご参加ください。

会場から少し足を伸ばせば、稲村ヶ崎、極楽寺、長谷大仏、由比ガ浜、鶴岡八幡宮、建長寺など訪れてみたいスポットが目白押しです。観光地として魅力あふれる鎌倉ですので、学会終了後にはぜひ観光の方も楽しんで頂ければと思います。

2日間の会期中は、どこか懐かしさを感じる江ノ電に揺られて、相模湾を見ながら会場にお越し下さい。“江ノ電で行く腹部放”への多くの方々のご参加をお待ちしております。

一般社団法人日本腹部放射線学会 役員名簿

《代表理事》 森 宣 (大分大) 《副代表理事》 後閑 武彦 (昭和大) 南 学 (筑波大)

《名誉会員》: 8名

荒木 力 (健康科学大) 黒田 知純 (大阪がん予せ) 中尾 宣夫 (兵庫医大) 中村 仁信 (彩都友誼会)
平松 京一 (水町MR) 平松 慶博 (立川北口健診館) 松井 修 (北陸画像診断支援セ) 宗近 宏次 (総合南東北病院)

《理事》: 8名

今井 裕 (東海大) 大友 邦 (国際医療福祉大) 角谷 眞澄 (信州大) 杉村 和朗 (神戸大)
富樫かおり (京都大) 鳴海 善文 (大阪医大) 村上 卓道 (近畿大) 山下 康行 (熊本大)

《功労会員》: 4名

木戸長一郎 (木戸病院) 隈崎 達夫 (日本医大) 竹川 鉦一 (総合南東北病院) 山田 龍作 (大阪河崎リハ)

《監事》: 2名

楢 靖 (獨協医大) 蒲田 敏文 (金沢大)

《評議員》: 81名

【北海道・東北地区】 8名

加藤 健一 (岩手医大) 児玉 芳尚 (手稲溪仁会) 齋藤 博哉 (札幌東徳洲会) 篠原 敦 (大館市立総合病院)
渋谷 剛一 (青森県立中央) 高瀬 圭 (東北大) 津田 雅視 (仙台市立病院) 橋本 学 (秋田大)

【関東・甲信越地区】 23名

赤羽 正章 (NTT東日本関東病院) 市川 智章 (埼玉医大国際医療セ) 衣袋 健司 (三井記念) 扇 和之 (日本赤十字)
扇谷 芳光 (昭和大) 岡田 吉隆 (埼玉医大国際医療セ) 加村 毅 (信楽園病院) 桑鶴 良平 (順天堂大)
五味 達哉 (東邦大大橋) 陣崎 雅弘 (慶應大) 新本 弘 (防衛医大) 竹下 浩二 (東京山手メディカル)
田中優美子 (がん研有明) 原留 弘樹 (北里大) 古川 顕 (首都大学東京) 松枝 清 (がん研有明)
松尾 義朋 (イーサイトヘルスケア) 水沼 仁孝 (那須赤十字) 本杉宇太郎 (山梨大) 森 健作 (筑波大)
吉田 哲雄 (神奈川県がんセ) 吉村 宣彦 (新潟大) 渡谷 岳行 (東京大)

【中部・北陸地区】 9名

阿保 斉 (富山県立中央) 伊藤 茂樹 (名古屋第一赤十字) 兼松 雅之 (岐阜県総合医療セ) 五島 聡 (岐阜大)
小林 聡 (金沢大) 鈴木耕次郎 (愛知医大) 竹内 充 (ラジオロネット東海) 竹原 康雄 (名古屋大)
山本 亨 (福井県立)

【近畿地区】 19名

磯田 裕義 (京都市大) 伊藤 亨 (神戸中央市民) 今岡いずみ (近畿大) 大田 信一 (滋賀医大)
狩谷 秀治 (関西医大) 河上 聡 (京都ProMed) 吉川 公彦 (奈良医大) 金 東石 (なにわ生野)
杉本 幸司 (神戸大) 高橋 哲 (高槻病院) 谷川 昇 (関西医大) 鶴崎 正勝 (近畿大)
中井 豪 (大阪医大) 廣橋 伸治 (大阪暁明館) 堀 雅敏 (大阪大) 松木 充 (近畿大)
丸上 永晃 (奈良医大) 山崎 道夫 (公立甲賀) 山本 和宏 (大阪医大)

【中国・四国地区】 9名

栗井 和夫 (広島大) 伊東 克能 (山口大) 金澤 右 (岡山大) 佐野村隆行 (香川大)
津田 孝治 (愛媛大) 藤井 進也 (鳥取大) 松崎 健司 (徳島文理大) 山上 卓士 (高知大)
吉廻 毅 (島根大)

【九州・沖縄地区】 13名

青木 隆敏 (産業医大) 入江 裕之 (佐賀大) 内田 政史 (久留米大) 岡田 真広 (琉球大)
浪本 智弘 (熊本大) 西村 浩 (済生会二日市) 林 秀行 (諫早総合) 福倉 良彦 (鹿児島大)
福田 俊夫 (長崎なとメディカルセンター) 本田 浩 (九州大) 松本 俊郎 (大分大) 吉満 研吾 (福岡大)
渡辺 祐司 (九州大)

(106名敬称略・順不同)

《事務局》

森 宣、山田 康成、小川 智子
大分大学医学部臨床医学系放射線医学講座
〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1
E-mail: jsar@oita-u.ac.jp

一般社団法人設立と正会員としての年会費制について

本会は1990年から「任意団体」として活動して参りましたが、会員数も平成22年には900名を越え、国内外の腹部放射線医学・画像診断学領域において重要な役割を果たしております。

放射線医学の更なる発展の基盤となるよう、平成23年2月7日（月）に名実ともに「一般社団法人 日本腹部放射線研究会」として設立登記し、平成25年6月21日（金）に「一般社団法人 日本腹部放射線学会」となりました。

尚、「一般社団法人」は主に「会費収入」で成り立つ事が条件と定める公正取引委員会での取決めにに基づき、平成23年度より正会員としての「年会費制（8,000円）」を導入し、お支払い手続きのご負担軽減の為、全てクレジットカード決済としております。

【正会員の継続について】

正会員としての継続の意思を事前確認させて頂き、平成30年度年会費（8,000円）を本年5月1日付で自動決済させて頂きます。

【新規に正会員としてご登録頂く場合】

本学会の法人化前（平成23年2月7日以前）に会員登録済みの場合は、学会ホームページの会員登録頁より「確認・修正」をご選択頂き、登録内容を確認・修正してください。この際には年会費のクレジットカード決済のご入力をお願いいたします。

- ・年会費納入期間：日本腹部放射線学会法人年度内（5月1日～翌年4月末日）
但し、学会開催前の5月1日～31日の間（※）に、当年度の「年会費（8,000円）」を納入して頂いた場合は、同年6月（※）に開催されます学術集会の参加費（15,000円）を、年会費納入の特典として減額いたします（正会員：5,000円、但し、初期研修医は免除）。
上記期間内に「年会費」を納入されない場合は、学術集会『参加費（15,000円）』は当日、会場にてお支払いください。
※平成30年度は、会期が例年より早く5月25日（金）～26日（土）となります。
年会費の納入は5月1日～10日の間にお願いいたします。

[年会費納入の特典]

- 1) 学会および学会関連学会の情報提供
- 2) 学会ホームページ上の「デジタルアトラス」の閲覧資格取得
- 3) 日本腹部放射線学会バイエル奨励賞の応募資格取得
- 4) 当年度の学会当日参加費の優遇
(学会開催前の5月1日～31日の間（※）に年会費を納入して頂いた場合に限られます)
※平成30年度は、年会費の納入を5月1日～10日の間にお願いいたします。

正会員	¥ 5,000（但し、初期研修医は免除）
非会員	¥ 15,000（但し、初期・後期研修医は5,000円）

* 学生の参加費は免除されます。

「正会員」となることにより、多くの先生方が日常診療や研究活動及び教育の場において幅広くその特典を活用されることを祈願いたします。

一般社団法人日本腹部放射線学会
代表 森 宣

ご案内

1. 総合受付

1) 受付日時・場所

日時：2018年5月25日（金） 8：00～
26日（土） 7：30～

場所：鎌倉プリンスホテル 「バンケットホール七里ヶ浜」 前ロビー

2) 参加費は下記の通りです。

当日、受付にて参加費をお支払いいただき、名札（兼出席証明書）をお受け取りください。

正会員	5,000円
	但し、初期研修医は免除
非会員	15,000円
	但し、初期・後期研修医は5,000円

※）正会員は学会開催前の平成30年5月1日～5月10日の間に年会費を納入頂いた方に限ります。

※）学生の参加費は免除されます。

2. 一般演題

【一般口演】

- ・口演会場はバンケットホール七里ヶ浜です。
- ・International Sessionでは英語でのご発表・討論をお願いします。

1) 座長

- ・ご担当頂くセッションの終了時間を厳守してください。一般口演の発表時間はすべて5分、討論時間は各口演につき4分（病理コメントを含む）、International Sessionでは、発表時間5分、討論時間を5分（病理コメントを含む）とします。

2) 発表者

◆「ブレデジタルアトラス」について

発表者全員に学会ホームページ上で発表内容を「ブレデジタルアトラス」形式で事前入力して頂き、非公開で「打田賞」事前審査に活用させていただきます。また、学会当日、充実した討論をして頂く為に、病理コメントーターの先生方による症例内容の事前確認をブレデジタルアトラスにて行いますので、入稿の際には詳細な病理像を掲載できるよう予めデータのご準備をお願いいたします。

◆「デジタルアトラス」、学術誌「臨床放射線」掲載について

学会終了後に、掲載希望確認の上、「ブレデジタルアトラス」を「デジタルアトラス」として学会ホームページに掲載いたします。また、選考委員より推薦された演題は日本腹部放射線学会が、学術誌「臨床放射線」への投稿（「ブレデジタルアトラス」+「英文サマリー」+「査読」）をサポートいたします。（学術誌「臨床放射線」と「デジタルアトラス」のホームページ併載は二重投稿となりません。）

<タイムスケジュール>

H29	11	12	H30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
演題登録			→			→			◆ 第32回日本腹部放射線学会						
			「ブレデジタルアトラス」入稿						掲載可否最終確認						
									「ブレデジタルアトラス」内容修正 (学術誌「臨床放射線」投稿は英文サマリー追加)						
									「デジタルアトラス」HP掲載						
									臨床放射線」査読(JSAR査読委員)・著者校正						
									※) 翌年「臨床放射線」掲載						

※) 「臨床放射線」掲載予定は金原出版社の最終協議により決定いたします。

<執筆要綱(概略)>

①「プレデジタルアトラス (=デジタルアトラス)」

日本語入力	〔症例報告〕 3,200字以上 8,800字以内 〔原著論文〕 3,200字以上 12,800字以内 ※) 図、表…1点を400字に換算
英語入力	〔Case Report〕 2,000語以内 〔Original Article〕 3,000語以内 ※) 図、表…15点以内

②「臨床放射線」

選考委員により推薦された演題については、「プレデジタルアトラス」掲載内容を論文の体裁に整えて頂き、**英文サマリー(演題名、演者名、所属含100ワード以内)**を追加後、査読・校正を通して同学術誌へ投稿して頂く事が出来ます。又、英語入力された場合は臨床放射線の投稿規定に準じて頂きます。

◆発表時間

- ・一般口演の発表時間は発表5分・討論時間4分です。International Session では、発表時間5分、討論時間5分(病理コメントを含む)です。時間厳守をお願いいたします。

◆発表形式

- ・PCによる発表ですので、データもしくはご自身のPCをご持参ください。
- ・会場に設置されるプロジェクターは1画面となり、解像度は1024×768ピクセルです。
- ・当日は演者ご自身で舞台上に設置されてあるキーボード及びマウスにて操作していただきます。

病理コメントーターがコメントをする際に、病理写真のスライドを使うことがございますので、最終スライドの後に、発表で使ったものと同じ病理写真のスライドを再掲してください。

発表で提示していない病理写真を入れることはできません。

質疑応答の際に、スライドを戻して説明することはご遠慮ください。

◆PC受付

- ・PC受付(1F「バンケットホール七里ヶ浜」前)にて、発表の30分前までに試写をお済ませください(混雑が予想されますので、十分時間に余裕を持ってPC受付を行っていただきますようご協力をお願いいたします)。
- ・PC受付での発表データの修正作業はご遠慮ください。
- ・PC本体をお持ち込みの方はデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席(会場ステージ向かって左側)までご自身でお持ちください。

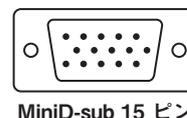
◆発表に関する注意事項

<データをお持ち込みの方>

- ・発表はWindowsのPowerPointとなります。発表データはCD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください(CD-RW、DVD-RWは不可)。
- ・ご発表用アプリケーションは以下のバージョンをご用意いたします。
Windows PowerPoint : 2010~2016
※ Macintoshで発表データを作成される方は、ご自身のPCをご持参ください。
- ・フォントはOS標準で装備されているものをご使用ください。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお勧めいたします。
推奨フォント/日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
推奨フォント/英語の場合 Century、Century Gothic
上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起こる可能性があります。
- ・動画をご使用の場合は、PowerPointとのリンク状態を保つため、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。ファイル形式は、Windows Media Player12(標準コーデック)で動作するファイル形式をご用意ください(推奨:mp4、WMV)。
※ AVIはCODECによって再生できない場合があります。
動画をご使用の場合は、ご自身のPCをご持参いただくことをお勧めいたします。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・お預かりした発表データは、学会終了後、事務局にて消去いたします。

<PC本体をご持参される方>

- ・PC本体をお持込みの方は、PC受付でのデータ確認終了後、発表会場のPCオペレーター席（会場ステージ向かって左側）までご自身でお持ちください。
- ・PCお持ち込みの場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。
- ・バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参ください。再起動することがありますので起動の際のパスワード設定は必ず解除してください。
- ・出力端子がMiniD-sub 15ピンでないものは、接続アダプターをご持参ください。
※HDMIやMini DisplayPortなどのD-sub 15ピン以外の接続はお受けできません。
- ・画面サイズ（解像度）はXGA（1024×768）となります。
- ・この環境で画面のすべてが不具合なく表示されることを、予めご確認ください。
- ・音声は使用できません。
- ・発表者ツールは使用できません。発表原稿が必要な方は、あらかじめプリントアウトをお持ちください。
- ・スクリーンセーバー、ウイルスチェック、並びに省電力設定（Macintoshの場合はホットコーナーも）は、あらかじめ解除をお願いいたします。



◆病理標本

- ・口演は病理学の先生にコメンテーターをお願いしております。病理コメンテーターの先生方よりご要望のあった演題については、事前にプレパラートをご送付いただくか、当日ご持参いただきます。ご郵送をお願いする場合は改めてご連絡させていただきます。なお、お預かりしたプレパラートは、口演後に病理室（1F りんどう）にて返却いたしますのでお忘れのないようご注意ください。

【ポスター展示】

- ・ポスター展示会場は1F「バンケットホール七里ヶ浜」です。
- ・ポスター展示については、一般展示、問題提示（クイズ）形式の2種類があります。各自ご発表の形式とパネルサイズを確認の上、作成するようお願いいたします。

1) 座長

- ・1日目の17：30～18：15にポスターディスカッションを行います。
発表3分、質疑2分で進めてください。

2) 一般展示発表者

- ・ポスターを掲示するパネルのサイズは下記の通りです。
（10ページのポスター作成見本を参考に作成してください）
パネル上：横116cm×縦90cm
パネル下：横116cm×縦90cm
- ・ポスターは、1日目午前11：00までに掲示してください。ポスターを掲示するパネルに演題番号がついていますので、会場に用意されたマジックテープを使用して掲示してください。
- ・1日目の17：30～18：15にポスターディスカッションを行います。発表者はご自身のポスターの前で待機してください。各セッションの座長の進行に従って、発表3分、質疑2分をお願いいたします。
- ・2日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願いいたします。終了後30分経過しても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。

3) クイズ展示発表者

- ・ポスターを掲示するパネルの大きさは下記の通りです。
（11ページのポスター作成見本を参考に作成してください）
パネル上（出題）：横116cm×縦90cm
パネル下（解答解説）：横116cm×縦90cm
- ・出題部分には患者の年齢、性、簡単な主訴や経過、症例の画像のみを提示するように作成してください。図の説明は検査法のみとし、所見の解説はつけないようお願いいたします。矢印や矢頭はつけていただいても構いません。
- ・解答解説部分には演題名に続いて、画像の説明、最終診断、症例の解説をお願いいたします。出題部分と重複してお示しいただいても構いません。
- ・上記の原稿を指定日までに事務局宛に送付してください。解答・解説部分を隠して掲示いたします。なお、第1日目の17：30より解答・解説部分を公開いたします。
- ・展示に関して座長の設定や口演発表は行いませんが、第1日目の17：30～18：15まではポスターディスカッションのため、ご自分のポスターの前で待機してください。
- ・2日目の全プログラム終了後は、直ちにポスターの撤去をお願いいたします。終了後30分経過しても残っているポスターは処分いたしますので、ご了承ください。

3. 社員総会（世話人会）

日 時：5月25日（金）13：00～13：30（30分）

場 所：1F ローズ

4. 展示クイズ企画

日 時：5月25日（金）17：30～18：15

場 所：1F ポスター会場内

・ポスター展示の閲覧時間は第1日目11：00～20：00、2日目8：00～17：00です。第1日目の17：30までクイズ展示ポスターの解答・解説は隠されています。

・会場には解答用紙を用意しておりますので、解答・解説が発表される前に皆様奮ってご解答ください。なお、解答・解説は第1日目の17：30～18：15に公開されますので、それまでに会場に用意された箱に記名のうえご投函ください。

※5月26日（土）11：30～11：40 口演会場（1F バンケットホール七里ヶ浜）にてクイズ症例優秀者表彰を行います。上位の方には当番世話人が心ばかりの賞品をご用意しております。皆様ぜひご参加ください。

5. 打田賞受賞講演・表彰

日 時：5月26日（土）13：05～13：40

6. 基調講演

【基調講演1】 バイエル薬品株式会社 共催セミナー

日 時：5月25日（金）10：10～10：40

座 長：陣崎 雅弘（慶應義塾大学医学部 放射線科学教室（診断））

演 者：都築 豊徳（愛知医科大学病院 病理診断科）

『画像診断と病理診断の融合 -Mariage du diagnostic pathologique et du diagnostic d'imagerie-』

【基調講演2】 バイエル薬品株式会社 共催セミナー

日 時：5月26日（土）15：00～15：30

座 長：桑鶴 良平（順天堂大学大学院 医学研究科 放射線診断学）

演 者：長谷川 潔（東京大学大学院医学系研究科 臓器病態外科学 肝胆膵外科、人工臓器・移植外科）

『大腸癌肝転移に対するConversion Therapyと画像診断』

7. 共催セミナー

【ランチョンセミナー1】 キヤノンメディカルシステムズ株式会社

日 時：5月25日（金）11：35～12：25

『腹部領域における最新画像診断から機能評価まで』

座 長：岡田 真広（日本大学医学部 放射線医学系放射線医学分野）

演 者：曾我 茂義（防衛医科大学校 放射線医学講座）

『超高精細CT—腹部領域における初期経験』

原田 雅史（国立大学法人 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 放射線医学分野）

『Vitrea IVIM解析を用いたvirtual MR Elastographyの検討』

【ランチョンセミナー2】 GEヘルスケア・ジャパン株式会社

日 時：5月26日（土）12：05～12：55

『MRIによる前立腺・腹部の画像診断と治療』

座 長：今井 裕（東海大学医学部 画像診断学）

演 者：新本 弘（防衛医科大学校 放射線医学講座）

『前立腺MRI PI-RADS v2の現状と問題点』

Pejman Ghanouni（Department of Radiology, Stanford University School of Medicine）

『Clinical applications of “MR guided focused ultrasound at Stanford”』

【ティertimeセミナー】 富士製薬工業株式会社

日 時：5月25日（金）15：00～15：50

『腹部画像診断 up to date』

座 長：村上 卓道（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野）

演 者：本杉宇太郎（山梨大学医学部 放射線医学講座）

『最新技術を臨床現場へ：CT/MR プロトコールはこう変わる』

藤永 康成（信州大学医学部 画像医学教室）

『自己免疫性膵炎臨床診断基準2011』改訂のポイント』

【モーニングセミナー】 株式会社フィリップス・ジャパン

日 時：5月26日（土）8：00～8：50

座 長：福倉 良彦（鹿児島大学病院 放射線科）

演 者：中浦 猛（熊本大学大学院 生命科学研究部）

『IQonスペクトラルCTの腹部画像診断における有用性』

野田 佳史（岐阜大学 放射線科）

『肝胆膵領域における新たなルーチン検査の潮流

～C-SENSEを用いた高速撮像と定量的機能評価～』

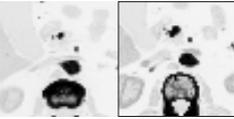
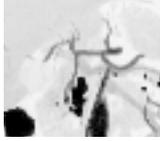
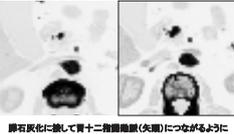
8. 情報交換会

日 時：5月25日（金）18：20～

場 所：1F ポスター会場（バンケットホール七里ヶ浜）

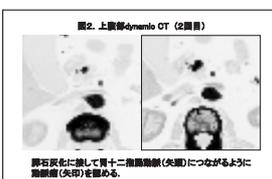
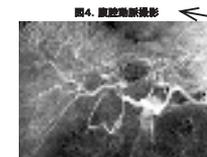
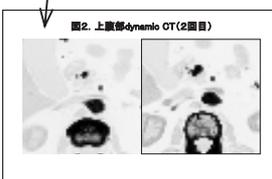
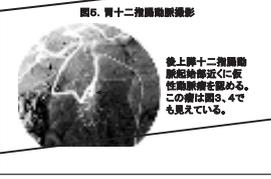
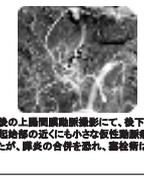
一般展示 ポスターの見本 (A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

A4用紙を使った場合、上の欄には最大3列×4行、下の欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙を横置きで貼り付けることができます。

演題番号は事務局で準備します。	使用しません	135mm ↓ 60mm ↑	
<p>塞栓術で治療した Hemosucous Pancreaticus の1症例</p> <p>魚山 佳史, 須生 茂, 南 学, 桑羽 正孝, 吉岡 直紀, 古賀 久雄, 三田 俊, 大友 邦</p> <p>東京大学医学部附属病院放射線科</p>	<p>症例</p> <ul style="list-style-type: none"> 68歳男性 主訴: 下血, 心窩部痛, 嘔吐, 冷汗 日本酒2合×2年 6月検診にて貧血指摘(Hb 6合)近医受診。7月頃下血が一度あり。8月に気分不快, 悪心, 嘔吐, 下血があり, 当院救急入院, Hb 6合, 吐血。OT, US行も出血量不明。11月に血便, ぶらつきがあったため, 当院受診, Hb 6.8と低下のため緊急入院。 	<p>入院後経過</p> <ul style="list-style-type: none"> Hb 6.8 ↓ g/dL, CRP <0.3 mg/d 正球性貧血 (MCV 227 fL / dL, MCV 88.1) amylase 158 IU/L, p-amylase 74 IU/L 胆管上下部内視鏡 - 明らかな出血源なく, 十二指腸のsecond portion におのみ血液付着 OT (一回目): 慢性膵炎後, 膵頭部に石灰化 小腸造影: 異常なし HSA出血シンチ: 異常なし 輸血(OAP) 21.8回 	900mm
<p>図1. 腹部造影CT (1回目, 遅延相)</p> 	<p>図2. 上部腹部dynamic CT (2回目)</p> 	<p>図3. MPVR-MP</p> 	60mm ↓ 900mm ↑
<p>図4. 腹部動脈造影</p> 	<p>図2. 上部腹部dynamic CT (2回目)</p>  <p>膵石灰化に続いて胃十二指腸動脈(矢印)につながるように動脈瘤(矢印)を認める。</p>	<p>図5. 胃十二指腸動脈造影</p>  <p>後上胃十二指腸動脈起始部近くに慢性動脈瘤を認める。この瘤は図3, 4でも見えている。</p>	60mm ↓ 900mm ↑
<p>塞栓術後の上部動脈造影にて, 後下十二指腸動脈起始部の近くに小さな慢性動脈瘤の残存を認めたが, 膵炎の合併を恐れ, 塞栓術は追加しなかった。</p> 	<p>5ヶ月後のERCP</p>  <ul style="list-style-type: none"> 主膵管内に結石 膵管拡張 	<p>Hemosucous Pancreaticus</p> <ul style="list-style-type: none"> Sandblom P.(1970)が最初に報告 膵管からの大量の出血を指す 症とんどのものが慢性膵炎に伴うもの 慢性膵炎の膵管内壊疽により膵管から出血 その他に慢性, 富血性膵炎の膵梗塞, 遠位腸(風所性腸)などによるものも報告されている 報告 65例 (慢性膵炎による治療例 9例) 	60mm ↓ 900mm ↑
<p>Hemosucous Pancreaticus : 診断</p> <ul style="list-style-type: none"> 出血は顕微鏡的かつ, 動脈から膵管への出血が描出されるはまれ。(Sawyer, 1993) 内視鏡で主膵管からの出血をもって診断(Moree, 1985; Jacobs, 1992). 内視鏡で不明なものは血管造影が有用(Shahani, 1994). OTで慢性膵炎, 動脈瘤。 3D-OTangiography も有用 (Malzfeldt, 1997). 	<p>Hemosucous Pancreaticus : 治療</p> <ul style="list-style-type: none"> 手術 <ul style="list-style-type: none"> 膵部分切除, 膵摘, 動脈の結紮 塞栓術 <ul style="list-style-type: none"> 動脈瘤の近位・遠位の塞栓 	<p>Hemosucous Pancreaticus</p> <ul style="list-style-type: none"> 慢性膵炎に慢性動脈瘤が合併する頻度は約10% (White, 1978; Hofer, 1987). 慢性膵炎症例における消化管出血を見た場合には, この疾患を念頭に置いて詳細に診断する必要がある。 	60mm ↓ 900mm ↑
<p>この部分は見にくいので, 掲示しないようにしてください。</p> 			80mm ↓ ↑
1160mm			80mm ↓ ↑

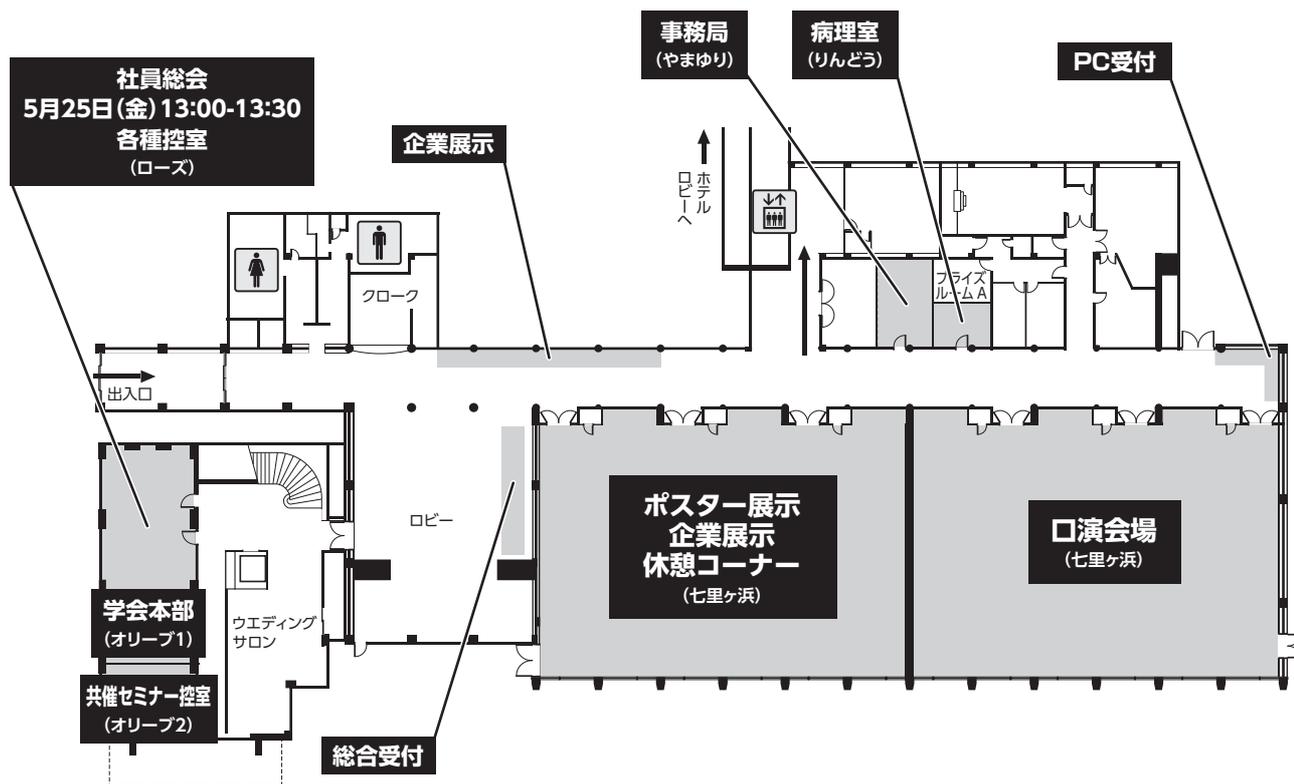
クイズポスターの見本 (A4用紙に印刷してポスターを組んだ場合)

A4用紙を使った場合、上の問題欄には3列×4行、下の解答・解説欄には最大3列×3行、計21枚のA4用紙を横置きで貼り付けることができます。

演題番号は事務局で準備します。	使用しません		135mm ↓ 60mm	
図に番号をふっておくと解説の際に便利です (論文のように)				
症例 68歳男性 主訴: 下血、心窩部痛、嘔吐、冷汗 日本酒2合×52年 5月放血にて貧血指摘(Hb 8台)近医受診、7月頃下血が一度増す。9月に気分不快、悪心、嘔吐、下血が再び、急診受診入院。Hb 6台、輸血。OT、US行っても出血源不明。11月に血便、おらつきがあったため、当院受診。Hb 8.8と低下のため緊急入院。	図1 腹部造影CT (1回目、遅延相) 	図2 上腹部dynamic CT (2回目)  肺石気圧に誘って胃十二指腸腸管(矢印)につながるように腸管腫(矢印)を認める。	900mm	
図3. MPVR-MP 	図4. 腹腔動脈造影 	画像所見の解説はここでは伏せて、どのような検査法かのみ示してください (Key pointがわかりにくい場合は矢印などを付け、その解説は解答・解説欄で述べてください)		
		Key imageは繰り返して提示していただいてもかまいません。		
塞栓術で治療した Hemosuccus Pancreaticus の1症例 倉山 聖史, 櫻生 淳, 森岡 正章, 吉岡 直紀, 古賀 久雄, 渡辺 慎, 大友 邦 東京大学医学部附属病院放射線科	入院後経過 Hb 8.8 ↓ g/dl, L, CRP <0.3 mg/dl 正球性貧血 (RBC 227万 ↓ /μl, MCV 88.1) amylase 188 IU/L, p-amylinase 74 ↑ IU/L 胆管上下部内径増大 - 明らかな出血はなく、十二指腸のsecond portion におみ血液付着 CT (一回目): 慢性膵炎指摘、膵頭部に石灰化小陰影 (異常なし) HSA出血シグナル (異常なし) 輸血(MAP 2h30間)	図2. 上腹部dynamic CT (2回目) 	900mm	
図5. 胃十二指腸腸管造影  後上腹十二指腸腸管近接部に慢性膵炎を認める。この像は図3、4でも見えている。	最終診断 Hemosuccus Pancreaticus hemo=[O, a/m] blood succous=[L] Juice	 塞栓術後の上腹部dynamic CTにて、後下腹十二指腸腸管近接部の近くにも小さな慢性膵炎の残存を認めたが、膵炎の合併を恐れ、塞栓術は追加しなかった。		
Hemosuccus Pancreaticus ・ Sandblom P (1970)が最初に報告 ・ 膵管からの大量の出血を指す ・ ほとんどのものが慢性膵炎に伴うもの ・ 慢性膵炎の膵管内破裂により膵管から出血 ・ その他に外傷性、富血性膵炎の膵転移、迷走脾 (異所性脾) などによるものも報告されている ・ 報告 65例 (塞栓術による治療例 9例)	Hemosuccus Pancreaticus : 診断 ・ 出血は間欠的のため、腸管から膵管への出血が抽出されるのはまれ。(Suter, 1995) ・ 内視鏡で主膵管からの出血をもつて診断(Moraw, 1982; Jacobs, 1992). ・ 内視鏡で不明なものは血管造影が有用 (Shahani, 1984). ・ CTで慢性膵炎、膵腺腫。 ・ 3D-CTangiography も有用 (Matzfeldt, 1997).	必要の場合はreferenceを加えてください。		
この部分は見にくいので、掲示しません。	(This area is intentionally obscured for visibility reasons.)			80mm
1160mm				

会場フロア図

鎌倉プリンスホテル 「バンケットホール七里ヶ浜」



プログラム・日程表

第 32 回 日本腹部放射線学会 日程表

5月25日(金)		5月26日(土)	
8:00		7:30	開場
	9:00~9:05 開会の挨拶	8:00~8:50	モーニングセミナー
9:00		9:00~9:45	消化管・腸間膜・腹腔・腹壁 (O-30 ~ O-34)
	9:05~10:10 腎臓 (O-1 ~ O-7)	9:45~10:00	展示協賛プレゼンテーション
10:00		10:00	
	10:10~10:40 基調講演 1	10:05~10:50	副腎・泌尿器 (O-35 ~ O-39)
11:00		10:50~11:30	泌尿器 (O-40 ~ O-43)
	10:50~11:30 International Session (O-8 ~ O-11)	11:30~11:40	クイズ症例優秀者表彰
		11:40~12:05	昼食
12:00		12:00	
	11:35~12:25 ランチョンセミナー 1	12:05~12:55	ランチョンセミナー 2
	12:25~13:30 昼食・ポスター閲覧	13:00	
13:00		13:00~13:30	社員総会(世話人会) 会場:ローズ
	13:30~14:10 脾臓 1 (O-12 ~ O-15)	13:05~13:40	打田賞受賞講演
14:00		13:40~13:55	JSAR 総会 (事務局連絡)
	14:10~14:50 脾臓 2 (O-16 ~ O-19)	13:55~15:00	胆嚢・胆管・肝臓 1 (O-44 ~ O-50)
15:00		15:00	
	15:00~15:50 ティータイムセミナー	15:00~15:30	基調講演 2
16:00		15:35~16:20	肝臓 2 (O-51 ~ O-55)
	15:50~16:30 子宮 (O-20 ~ O-23)	16:20~17:05	肝臓 3 (O-56 ~ O-60)
17:00		17:00	
	16:30~17:25 卵巣 (O-24 ~ O-29)	17:05~	閉会の挨拶
18:00		18:00	
	17:30~18:15 [ポスター会場] ポスターディスカッション/ クイズ症例解答発表		
	18:20~ 情報交換会 [ポスター会場]		

9:00~9:05 開会の挨拶

9:05~10:10 セッション1 腎臓 (7題)

座 長 松尾 義朋 (イーサイトヘルスケア株式会社)
コメンテーター 三上 修治 (慶應義塾大学病院 病理診断科)

O-1 Bosniak分類categoryIVの嚢胞性腫瘍の所見を呈した淡明細胞乳頭状腎細胞癌の1例

櫻井 亮佑¹、成田 啓一¹、秋田 大宇¹、松本 一宏²、三上 修治³、大家 基嗣²、陣崎 雅弘¹

慶應義塾大学医学部 放射線科学 (診断)¹、慶應義塾大学医学部 泌尿器科学²、慶應義塾大学病院 病理診断科³

O-2 Chromophobe RCC 16例のDynamic CE-CT・MRI画像所見と画像病理対応

何澤 信礼¹、服部日出雄²、芝本 雅太¹、大場 翔太¹、辻村 貴史³、荒川 利直⁴、山下 依子^{2,5}、安井 孝周⁵、戸澤 啓一⁵

名古屋市立大学病院 放射線医学講座¹、名古屋市立大学病院 病理²、成田記念病院 放射線科³、岡崎市民病院 放射線科⁴、名古屋市立大学病院 泌尿器科⁵

O-3 昨年度の腹部放射線学会にて発表したXp11.2 転座型腎細胞癌疑い例・続報

柏木 栄二¹、杉原 英治¹、欠田真理子¹、山川 美帆¹、国富 裕樹¹、喜久山綾乃¹、甲田真由子¹、村田 昌之¹、川本 誠一¹、蔦原 宏一²、島津 宏樹³、伏見 博彰³

大阪急性期・総合医療センター 画像診断科¹、大阪急性期・総合医療センター 泌尿器科²、大阪急性期・総合医療センター 病理科³

O-4 類上皮型腎血管筋脂肪腫に対してtransarterial ethanol ablationを施行した1例

青木 亮¹、関川善二郎¹、西井 俊晶¹、山本 統¹、三好 康秀²、竹林 茂夫¹

横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線科¹、横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器科²

O-5 腎癌との鑑別に苦慮したIgG4関連腎臓病の1例

渡辺 洋志¹、田中 一²、藤井 靖久²、児玉 真⁴、明石 巧⁴、横山 和佳³、藤岡 友之¹、久保田一徳¹、斎田 幸久¹、立石宇貴秀¹

東京医科歯科大学医学部附属病院 放射線診断科¹、東京医科歯科大学医学部附属病院 泌尿器科²、東京医科歯科大学医学部附属病院 膠原病内科³、東京医科歯科大学医学部附属病院 病理部⁴

O-6 術前診断が困難であった肉芽腫性間質性腎炎の1例

吉川 仁人¹、坂本 圭太¹、藪崎 哲史¹、加藤 扶美¹、真鍋 徳子¹、工藤 與亮¹、
土井 和尚²、岡田 宏美²、岩見 大基³、堀田記世彦³、篠原 信雄³、白土 博樹⁴
北海道大学病院 放射線診断科¹、北海道大学病院 病理部²、北海道大学病院 泌尿器科³、
北海道大学大学院医学研究科 医学専攻病態情報学講座放射線医学分野⁴

O-7 大動脈および両側腎臓に浸潤した高悪性度リンパ腫様肉芽腫症の1例

木曾 翔平¹、小山 貴¹、森島 裕策¹、富永 磨²、小池 修平³、能登原憲司⁴
倉敷中央病院 放射線診断科¹、倉敷中央病院 心臓血管外科²、倉敷中央病院 泌尿器科³、
倉敷中央病院 病理診断科⁴

10:10~10:40 基調講演1：バイエル薬品株式会社

座長 陣崎 雅弘 (慶應義塾大学医学部 放射線科学教室 (診断))

演者 都築 豊徳 (愛知医科大学病院 病理診断科)

『画像診断と病理診断の融合 -Mariage du diagnostic
pathologique et du diagnostic d'imagerie-』

10:50~11:30 セッション2 International Session (4題)

Moderators Shenghong Ju (Zhongda Hospital, Southeast University, China)

Hiromu Mori (Oita University Faculty of Medicine)

Commentator Shuji Mikami (Keio University Hospital)

O-8 Dynamic contrast-enhanced CT findings in papillary RCC; difference in histologic subtypes

Takashi Koyama¹, Yusaku Moribata¹, Satoru Nakashita¹, Kenji Notohara²,
Akito Terai³

Department of Diagnostic Radiology, Kurashiki Central Hospital¹,

Pathology, Kurashiki Central Hospital², Urology, Kurashiki Central Hospital³

O-9 Duodenal obstruction induced by retroperitoneal progression of the bladder cancer: report of two cases

Koji Tokunaga¹, Akihiro Furuta¹, Shigeki Arizono¹, Yuki Teramoto²,
Hiromitsu Negoro³, Aki Kido¹, Hiroyoshi Isoda¹, Kaori Togashi¹

Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine, Kyoto University Graduate School
of Medicine¹,

Department of Diagnostic Pathology, Kyoto University Graduate School of Medicine²,

Department of Urology, Kyoto University Graduate School of Medicine³

O-10 Retroperitoneal stromal tumor of uncertain malignant potential (STUMP): a case report.

Takeshi Hara¹, Takeshi Ogata¹, Hiroko Wada¹, Takayuki Yabuki¹, Koji Tanakaya²,
Susumu Kanazawa³

Department of Radiology, NHO Iwakuni Clinical Center¹,

Department of Surgery, NHO Iwakuni Clinical Center²,

Department of Radiology, Okayama University³

O-11 Fish bone migration to bile ducts after pancreatoduodenectomy: a report of six cases.

Masaaki Akahane¹, Masashi Kusakabe², Junichi Kazaoka³, Mizuho Murakami²,
Hiroki Sasaki², Ichiro Shirouzu², Mariko Terasaki², Haruyasu Yamada²

Department of Radiology, International University of Health and Welfare, School of Medicine¹,

Department of Radiology, NTT Medical Center Tokyo²,

Department of Diagnostic Radiology, Japanese Red Cross Saitama Hospital³

11:35~12:25 ランチョンセミナー1: キヤノンメディカルシステムズ株式会社

座長 岡田 真広 (日本大学医学部 放射線医学系放射線医学分野)

『腹部領域における最新画像診断から機能評価まで』

演者 曾我 茂義 (防衛医科大学校 放射線医学講座)

『超高精細CT一腹部領域における初期経験』

演者 原田 雅史 (国立大学法人 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 放射線医学分野)

『Vitrea IVIM解析を用いたvirtual MR Elastographyの検討』

13:00~13:30 社員総会 (世話人会)

13:30~14:10 セッション3 膵臓1 (4題)

座長 小山 貴 (倉敷中央病院 放射線診断科)

コメンテーター 眞杉 洋平 (慶應義塾大学医学部 病理学教室)

O-12 膵頭十二指腸領域の悪性腫瘍を同時合併し術前診断が困難であった膵癌の2例

伊藤 茂樹¹、山田恵一郎¹、村井 淳志¹、富家 未来¹、新井綾希子¹、河合 雄一¹、
前田 真吾²、吉岡裕一郎²、安藤 良太³、伊藤 藍³、藤野 雅彦³

名古屋第一赤十字病院 放射線診断科¹、名古屋第一赤十字病院 外科²、

名古屋第一赤十字病院 病理部³

0-13 膵Mixed Acinar-Neuroendocrine Carcinomaの1例

崎須賀敬央¹、大西 裕満¹、堀 雅敏¹、巽 光朗¹、大須賀慶悟¹、中本 篤¹、東原 大樹¹、中澤 哲郎¹、小野 祐介¹、太田 崇詞¹、福井 秀行¹、大平 亮介¹、本行 秀成¹、富山 憲幸¹、池田純一郎²、江口 英利³、重川 稔⁴

大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学¹、大阪大学大学院医学系研究科 病態病理学²、大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学³、大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学⁴

0-14 慢性膵炎に認められ膵腫瘍との鑑別が困難であった結節状正常膵組織の1例

宮坂 祐輔¹、齋田 司¹、那須 克宏¹、坂下 信悟²、小田 竜也³、南 学¹

筑波大学附属病院 放射線科¹、筑波大学附属病院 病理診断科²、筑波大学附属病院 消化器外科³

0-15 MCNと術前診断されたIgG4関連膵貯留嚢胞の1例

野田 佳史¹、五島 聡¹、河合 信行¹、川田 紘資¹、棚橋 裕吉¹、松井 聡²、今井 寿²、吉田 和弘²、波多野裕一郎³、宮崎 龍彦³、松尾 政之¹

岐阜大学 放射線科¹、岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科²、岐阜大学医学部附属病院 病理部³

14:10~14:50 セッション4 膵臓2 (4題)

座 長 五島 聡 (岐阜大学医学部附属病院 放射線科)

コメンテーター 眞杉 洋平 (慶應義塾大学医学部 病理学教室)

0-16 分枝膵管を主体とするITPN (intraductal tubulopapillary neoplasm) の1例

堀口 瞭太¹、小川 浩¹、竹原 康雄¹、長縄 慎二¹、山口 淳平²、下山 芳江³

名古屋大学医学部 放射線医学教室¹、名古屋大学医学部 消化器外科¹、名古屋大学医学部 病理部³

0-17 膵脂肪浸潤を伴い術前診断に苦慮したIntraductal papillary mucinous carcinomaの1例

加藤 大祐^{1,4}、藪崎 哲史¹、阿保 大介¹、工藤 與亮¹、浅野 賢道²、山田 徹^{2,3}、平野 聡²、三橋 智子³、曾山 武士¹、加藤 扶美¹、真鍋 徳子¹

北海道大学病院 放射線診断科¹、北海道大学病院 消化器外科Ⅱ²、北海道大学病院 病理診断科・病理部³、JA北海道厚生連札幌厚生病院 放射線科⁴

0-18 右房転移を来した膵IPMNの1例

及川 朋美¹、中村 明浩²、小野 貞英³、関澤 琢郎¹、及川 茂夫¹、佐々木康夫¹、藤田洸太郎¹、水野 恵子¹、千葉 裕子¹、石川 一郎¹

岩手県立中央病院 放射線科¹、岩手県立中央病院 循環器科²、岩手県立中央病院 病理診断科³

0-19 膵管内乳頭粘液性腫瘍との鑑別が困難であった膵蛭 (すいてつ) 症の1例

小川 浩¹、竹原 康雄¹、長縄 慎二¹、山口 淳平²、下山 芳江³

名古屋大学医学部 放射線科¹、名古屋大学医学部 消化器外科¹、名古屋大学医学部 病理部³

15:00~15:50 ティータイムセミナー：富士製薬工業株式会社

座長 村上 卓道 (神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野)

『腹部画像診断 up to date』

演者 本杉宇太郎 (山梨大学医学部 放射線医学講座)

『最新技術を臨床現場へ：CT/MRプロトコールはこう変わる』

演者 藤永 康成 (信州大学医学部 画像医学教室)

『「自己免疫性膵炎臨床診断基準2011」改訂のポイント』

15:50~16:30 セッション5 子宮 (4題)

座長 木戸 晶 (京都大学医学部附属病院 放射線診断科)

コメンテーター 清川 貴子 (東京慈恵会医科大学 病理学講座)

0-20 分葉状内頸部腺過形成の嚢胞内に乳頭状発育を呈した子宮頸部胃型腺癌の1例

米今 知佐¹、高濱 潤子¹、岡田 博司²、伊藤 高広¹、丸上 永晃²、丸上 亜希²、
吉川 公彦¹、平井都始子²、植田 陽子³、森岡佐知子³、内山 智子⁴、大林 千穂⁴
奈良県立医科大学 放射線科¹、奈良県立医科大学 総合画像診断センター²、
奈良県立医科大学 産婦人科³、奈良県立医科大学 病理診断学講座⁴

0-21 GnRH療法にて縮小した低悪性度子宮内膜間質肉腫の1例

福井 修一¹、中園 貴彦¹、山口 健¹、入江 裕之¹、横山 正俊²、力武美保子³
佐賀大学医学部 放射線医学教室¹、佐賀大学医学部 産婦人科²、佐賀大学医学部 病理³

0-22 変性子宮筋腫として経過観察中に急激な増大をみせた高悪性度子宮内膜間質肉腫の1例

笹嶋 素子¹、石山 公一¹、戸沢 智樹¹、清水 大²、前田 大地³、南條 博⁴、
橋本 学¹
秋田大学医学部附属病院 放射線科¹、秋田大学医学部附属病院 産婦人科²、
秋田大学大学院医学系研究科 病態制御医学系器官病態学講座³、
秋田大学医学部附属病院 病理診断科/病理部⁴

0-23 既存の子宮漿膜下筋種の悪性転化と考えられた子宮平滑筋肉腫の1例

土田 千賀¹、岩崎 俊子¹、折坂 早苗²、竹内 譲²、八代 憲司³、津吉 秀昭³、
品川 明子³、吉田 好雄³、今村 好章⁴
福井総合病院 放射線科¹、福井総合病院 産婦人科²、福井大学 産婦人科³、
福井大学医学部附属病院 病理診断科/病理部⁴

16:30~17:25 セッション6 卵巣 (6題)

座 長 高濱 潤子 (奈良医科大学 放射線診断科)
コメンテーター 清川 貴子 (東京慈恵会医科大学 病理学講座)

O-24 術前に線維莢膜細胞腫と鑑別を要した類内膜癌の1例

大彌 歩¹、中村 真菜¹、藤永 康成¹、小野 元紀²、山田 靖²、塩沢 丹里²、
玉田 恒³、上原 剛³、角谷 眞澄¹

信州大学医学部 画像医学教室¹、信州大学医学部 産科婦人科学教室²、
信州大学医学部附属病院 臨床検査部³

O-25 卵巣低異型度漿液性癌の1例

北井 里実¹、尾上 薫¹、山田 恭輔²、菊地 亮³、佐藤 峻³、尾尻 博也¹

東京慈恵会医科大学 放射線医学講座¹、東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座²、
東京慈恵会医科大学 病理学講座³

O-26 骨盤内膜症由来と考えられた明細胞癌の1例

馬 永萍¹、小山 貴¹、森畠 裕策¹、石坂 幸雄¹、能登原憲司²、井関 昭子²、
板倉 純哉²、長谷川雅明³、福原 健³、安井みちる³

倉敷中央病院 放射線診断科¹、倉敷中央病院 病理診断科²、倉敷中央病院 産婦人科³

O-27 左卵巣にBrenner腫瘍・粘液性嚢胞腺腫と悪性リンパ腫を合併した1例

芝本健太郎¹、福原 由子¹、浜田 聡¹、荻野 裕香¹、岡村 淳¹、林 貴史¹、
本郷 淳司²、石田 尚正³、猶本 良夫³、物部 泰昌⁴、加藤 勝也¹

川崎医科大学総合医療センター 放射線科¹、川崎医科大学総合医療センター 産婦人科²、
川崎医科大学総合医療センター 外科³、川崎医科大学総合医療センター 病理科⁴

O-28 セルトリ・ライディッヒ細胞腫の1例

西澤麻理子、藤築 博史、八代 大祐、岡田 慎吾、加藤 仁美、桑鶴 良平
順天堂医院 放射線科

O-29 膾管内乳頭粘液性腺癌 (IPMC) の卵巣転移の2例

原田 舟¹、齋田 司¹、田中優美子²、志鎌あゆみ³、石毛 和紀⁴、河合 瞳⁵、
尾松 公平⁶、高澤 豊⁷、南 学¹

筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科¹、がん研究会有明病院 画像診断部²、
筑波大学附属病院 産婦人科³、筑波大学附属病院 消化器内科⁴、筑波大学附属病院 診断病理部⁵、
がん研究会有明病院 婦人科⁶、がん研究会有明病院 病理部⁷

17:30~18:15 ポスターディスカッション/クイズ症例解答発表

18:20~ 情報交換会

8:00~8:50

モーニングセミナー：株式会社フィリップス・ジャパン

座長 福倉 良彦 (鹿児島大学病院 放射線科)

演者 中浦 猛 (熊本大学大学院 生命科学研究部)

『IQonスペクトラルCTの腹部画像診断における有用性』

演者 野田 佳史 (岐阜大学 放射線科)

『肝胆膵領域における新たなルーチン検査の潮流
～ C-SENSEを用いた高速撮像と定量的機能評価～』

9:00~9:45

セッション7 消化管・腸間膜・腹腔・腹壁 (5題)

座長 白神 伸之 (東邦大学医療センター大森病院 放射線科)

コメンテーター 横崎 宏 (神戸大学大学院医学研究科 病理学講座病理学分野)

O-30 虫垂炎との鑑別が必要な低異形度虫垂粘液性腫瘍の2例

中港秀一郎¹、岩佐 嘉洋¹、齋田 幸久¹、久保田一徳¹、立石宇貴秀¹、菊池 章史²、
絹笠 祐介²、新宅 洋³、菅原江美子³、伊藤 崇³、明石 巧³

東京医科歯科大学医学部附属病院 放射線診断科¹、

東京医科歯科大学医学部附属病院 大腸・肛門外科²、東京医科歯科大学医学部附属病院 病理部³

O-31 腹部悪性中皮腫の2例

井上 明星^{1,2}、大田 信一²、茶谷 祥平²、神谷 梓²、関 晃吉²、永野 冬樹²、
佐藤 滋高²、村田喜代史²、小島 正継³、赤堀 浩也³、太田 裕之³、岡内 博³、
目片 英治³、辻川 知之⁴、飯田 洋也⁵、谷 眞至⁵、太田 えり⁶、森谷 鈴子⁶、
九嶋 亮治⁶

東近江総合医療センター 放射線科¹、滋賀医科大学 放射線医学講座²、

東近江総合医療センター 外科³、東近江総合医療センター 消化器内科⁴、

滋賀医科大学 外科学講座⁵、滋賀医科大学 病理診断科⁶

O-32 上部消化管閉塞で発症したprimary pelvis extrauterine serous carcinoma

信澤 宏¹、長谷川昭俊²、大前 芳男³、後藤 学⁴、寺戸 雄一⁵

川崎幸病院 放射線診断科¹、川崎幸病院 婦人科²、川崎幸病院 消化器内科³、川崎幸病院 外科⁴、
川崎幸病院 病理科⁵

O-33 多発動脈瘤形成を呈した結節性多発動脈炎の1例

出雲崎 晃¹、井上 大¹、小森 隆弘¹、松原 崇史¹、米田 憲秀¹、蒲田 敏文¹、
柘植 俊介²、川野 允弘²

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 内科系医学領域 放射線科学¹、

金沢大学附属病院 リウマチ内科²

0-34 FDG-PETで高集積を呈した稀な腹壁腫瘍の1例

樋口 慧¹、外山 由貴²、齋藤美穂子²、高浪健太郎²、植松 智海³、宮城 重人³、
佐藤 聡子⁴、高瀬 圭¹

東北大学大学院医学系研究科 放射線診断学分野¹、東北大学病院 放射線診断科²、
東北大学病院 移植・再建・内視鏡外科³、東北大学病院 病理部⁴

9:45~10:00 **展示協賛プレゼンテーション**

シーメンスヘルスケア株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン
富士フイルムメディカル株式会社

10:05~10:50 **セッション8 副腎・泌尿器 (5題)**

座 長 北島 一宏 (兵庫医科大学 放射線医学教室)
コメンテーター 都築 豊徳 (愛知医科大学病院 病理診断科)

0-35 腎門部発生の異所性副腎皮質腺腫の1例

山元 龍哉¹、河野 敦¹、伊藤 浩一¹、松枝 清¹、増田 均²、米瀬 淳二³、
前川 尚志⁴、稲村健太郎⁴、石川 雄一⁴

がん研究会有明病院 画像診断部¹、国立がん研究センター 東病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科²、
がん研究会有明病院 泌尿器科³、がん研究会有明病院 病理部⁴

0-36 脂肪成分を含む副腎オンコサイトーマの1例

村上 敦史¹、福永 健¹、藤井 進也¹、棕田奈保子¹、引田 克弥²、野坂 加苗³、
田邊 芳雄¹、内田 伸恵¹、小川 敏英¹

鳥取大学医学部 病態解析医学講座画像診断治療学分野¹、
鳥取大学医学部 器官制御外科学講座腎泌尿器学分野²、
鳥取大学医学部 病理学講座器官病理学分野³

0-37 両側尿管アミロイドーシスの1例

遠山 兼史^{1,2}、加山 英夫¹、滝沢 明利³、今野 真思³

国際親善総合病院 画像診断・IVR科¹、慶應義塾大学医学部 放射線診断科²、
国際親善総合病院 泌尿器科³

0-38 Vesical Imaging Reporting And Data System (VI-RADS) プロジェクトの進捗状況

竹内 充¹、鳴海 善文²、Valeria Panebianco³、James Catto⁴、Jelle Barentsz⁵

ラジオロネット東海 放射線科¹、大阪医科大学 放射線医学教室²、
Department of Radiological Sciences, Oncology and Pathology, Sapienza University of Rome³、
Academic Urology Unit, University of Sheffield⁴、
Department of Radiology, Radboud University Medical Center⁵

○-39 膀胱内穿破した多血性膀胱粘膜下腫瘍の1例

西山 智哉^{1,2}、高田ゆかり¹、村石 懐¹、黒崎 貴久¹、堀内 沙矢¹、加茂 実武¹、
小松 健司³、服部 一紀³、鈴木 高祐⁴、栗原 泰之¹

聖路加国際病院 放射線科¹、東京大学大学院 医学系研究科 生体物理医学専攻 放射線医学講座²、
聖路加国際病院 泌尿器科³、聖路加国際病院 病理診断科⁴

10:50~11:30 セッション9 泌尿器 (4題)

座 長 楳 靖 (獨協医科大学 放射線医学講座)
コメンテーター 都築 豊徳 (愛知医科大学病院 病理診断科)

○-40 後腹膜原発悪性Triton腫瘍の1例

加藤 伸平¹、國松奈津子²、黒木 聖子²、奥田 逸子²、塩野 孝博²、吉岡 直紀²、
赤羽 正章²、小野木雄三²、縄野 繁²、羽鳥 隆³、相田 真介⁴、阿部 修¹

東京大学医学部 放射線科¹、国際医療福祉大学三田病院 放射線診断センター²、
国際医療福祉大学三田病院 消化器センター³、国際医療福祉大学三田病院 病理診断センター⁴

○-41 巨大な前立腺多房性嚢胞腺腫

竹山 信之¹、下山 英明²、山本 健郎³、太田 道也³、山岸 元基³、谷藤 暁³、
黒川 一平³、杉下 裕勇³、大池 信之⁴、野呂瀬朋子⁴、磯部 友秀⁴、橋本 東児¹、
栗原 宜子⁵

昭和大学藤が丘病院 放射線科¹、昭和大学医学部 泌尿器科²、昭和大学藤が丘病院 泌尿器科³、
昭和大学藤が丘病院 病理診断科⁴、町田市民病院 放射線科⁵

○-42 男性の会陰部に生じたangiomyofibroblastoma-like tumorの1例

阿武 和¹、山本 弥生¹、岸田 健²、大久保陽一郎³、横瀬 智之³、吉田 哲雄¹
神奈川県立がんセンター 放射線診断・IVR科¹、神奈川県立がんセンター 泌尿器科²、
神奈川県立がんセンター 病理診断科³

○-43 超音波検査で診断した急性陰嚢疾患の3例

山崎 道夫、山本 敦子、井本 勝治、坂本 力
公立甲賀病院 放射線科

11:30~11:40 クイズ症例優秀者表彰

12:05~12:55 ランチョンセミナー2: GEヘルスケア・ジャパン株式会社

座長 今井 裕 (東海大学医学部 画像診断学)

『MRIによる前立腺・腹部の画像診断と治療』

演者 新本 弘 (防衛医科大学校 放射線医学講座)

『前立腺MRI PI-RADS v2の現状と問題点』

演者 Pejman Ghanouni (Department of Radiology, Stanford University School of Medicine)

『Clinical applications of “MR guided focused ultrasound at Stanford”』

13:05~13:40 打田賞受賞講演

司会 森 宣 (大分大学医学部 放射線医学講座)

表彰 松井 修 (北陸画像診断支援センター)

陣崎 雅弘 (慶應義塾大学医学部 放射線科学教室 (診断))

口演 (消化器系) 部門

EBV関連肝平滑筋腫瘍の1例

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 内科系医学領域 放射線科学 小森 隆弘

口演 (泌尿生殖器系) 部門

Imaging findings of ovarian dysgerminoma with emphasis on multiplicity and vascular architecture: implication for pathogenesis.

Department of Radiology, Osaka University Graduate School of Medicine Takahiro Tsuboyama

口演 (泌尿生殖器系) 部門

小児神経芽腫の成人例と考えられる“神経芽腫群”の2例

東京医科歯科大学医学部附属病院 放射線診断科 足立 拓也

展示 (消化器系) 部門

Intracystic papillary neoplasm of gallbladder (ICPN) の3例

昭和大学医学部 放射線医学講座 溝渕 有哉

展示 (泌尿生殖器系) 部門

腎管状嚢胞癌の画像所見の検討

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学教室 本田有紀子

13:40~13:55 JSAR総会 (事務局連絡)

13:55~15:00 セッション10 胆嚢・胆管・肝臓1 (7題)

座 長 吉満 研吾 (福岡大学医学部 放射線医学教室)
コメンテーター 眞杉 洋平 (慶應義塾大学医学部 病理学教室)

O-44 胆嚢扁平上皮癌の1例

斎藤 哲¹、佐野 勝廣¹、森阪 裕之¹、小林 正典²、良沢 昭銘²、上野 陽介³、
岡本 光順³、永田 耕治⁴、岡田 吉隆¹、市川 智章¹

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科¹、埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科²、
埼玉医科大学国際医療センター 肝胆膵外科³、埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科⁴

O-45 胆管神経内分泌癌の1例

松浦紘一郎¹、森阪 裕之¹、佐野 勝廣¹、上野 陽介²、岡本 光順²、永田 耕治³、
岡田 吉隆¹、市川 智章¹

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科¹、埼玉医科大学国際医療センター 肝胆膵外科²、
埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科³

O-46 複雑型膵胆管合流異常に対し造影CTでの術前評価が有用であった1例

宮本 晃多¹、岡本 大佑¹、安座間真也¹、西原雄之介¹、三田村知佳¹、菊池 嘉朋¹、
岸川 浩尚¹、相部 仁¹、福田 篤久²、村守 克己²

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 放射線科¹、
地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 小児外科²

O-47 11年間という長期経過観察の後に診断された肝内胆管癌の1例

清水 辰哉¹、本杉宇太郎¹、雨宮 秀武²、市川 大輔²、大西 洋¹

山梨大学医学部 放射線科¹、山梨大学医学部 第一外科²

O-48 肝外に発育した胆管粘液性嚢胞性腫瘍の1例

桐田 光弘、岩村 直樹、原田 公美、是永 章、田中 宏明、舌野 富貴、
河村 晃、早川 延幸、梅岡 成章、井口 治男、筒井 一成、細川 慎一、
米永 吉邦、安近健太郎、岩元 竜太、小野 一雄

日本赤十字社和歌山医療センター 放射線診断科

O-49 非典型的な画像所見を呈した胆管内乳頭状腫瘍 (IPNB) の1例

井原あゆ美、佐野村隆行、田中 賢一、則兼 敬志、山本 由佳、西山 佳宏

香川大学医学部 放射線医学講座

O-50 孤立性肝内胆管過誤腫性ポリープの1例

齊藤 夏彦¹、丸上 永晃²、岡田 博司²、高濱 潤子¹、伊藤 高広¹、平井都始子²、
吉川 公彦¹、野見 武男³、庄 雅之³、畠山 金太⁴

奈良県立医科大学附属病院 放射線科¹、奈良県立医科大学附属病院 総合画像診断センター²、
奈良県立医科大学附属病院 消化器外科³、奈良県立医科大学附属病院 病理診断科⁴

15:00~15:30 基調講演2: バイエル薬品株式会社

座長 桑鶴 良平 (順天堂大学大学院 医学研究科 放射線診断学)

演者 長谷川 潔 (東京大学大学院医学系研究科 臓器病態外科学 肝胆膵外科、人工臓器・移植外科)

『大腸癌肝転移に対するConversion Therapyと画像診断』

15:35~16:20 セッション11 肝臓2 (5題)

座長 伊東 克能 (山口大学大学院医学系研究科 放射線医学講座)

コメンテーター 眞杉 洋平 (慶應義塾大学医学部 病理学教室)

O-51 肝細胞腺腫との鑑別に苦慮した肝細胞癌の1例

原 佑樹^{1,2}、佐野 勝廣¹、森阪 裕之¹、上野 陽介³、合川 公康³、岡本 光順³、
永田 耕治⁴、岡田 吉隆¹、市川 智章¹

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科¹、埼玉医科大学病院 放射線科²、
埼玉医科大学国際医療センター 肝胆膵外科³、埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科⁴

O-52 肝細胞癌との鑑別に苦慮した多発分類不能型肝細胞腺腫の1例

山口 晴臣¹、中井 雄大¹、渡谷 岳行¹、古田 寿宏¹、大倉 直樹¹、田島 拓¹、
佐藤 次郎¹、五ノ井 渉¹、前田恵理子¹、有田 淳一²、長谷川 潔²、林 玲匡³、
田中麻理子³、阿部 修¹

東京大学医学部附属病院 放射線科¹、東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科・人工臓器移植外科²、
東京大学医学部附属病院 病理部³

O-53 骨盤内にみられた有茎性肝腫瘍の1例

大森 智子¹、瀧川 政和¹、井上登士郎¹、平川 耕大¹、田口智香子¹、浅野 雄二¹、
坂本友見子²、石井健一郎²、堀田 綾子³、斉藤 育朗³

国立病院機構相模原病院 放射線科¹、国立病院機構相模原病院 外科²、
国立病院機構相模原病院 病理診断科³

O-54 Polycystic liver diseaseとの鑑別が困難であった腎癌の同時性 嚢胞性肝転移の1例

酒井 正史^{1,2}、那須 克宏¹、檜山 貴志^{1,3}、南 学¹

筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科¹、茨城県立中央病院 放射線診断・IVR科²、
国立がん研究センター東病院 放射線診断科³

O-55 肝MALTリンパ腫2例のCT/MRI

田嶋 友一¹、久保 聡一¹、瀧谷 幸¹、中島 諭¹、藤村 幹彦¹、友井 正弘²、
安井 寛³

洛和会音羽病院 放射線科¹、洛和会音羽病院 PET-CT画像診断センター²、
洛和会音羽病院 病理診断科³

16:20~17:05 セッション12 肝臓3 (5題)

座長 小林 聡 (金沢大学 量子医療技術学講座)
コメンテーター 眞杉 洋平 (慶應義塾大学医学部 病理学教室)

O-56 副腎腫瘍術後に肝腫瘍を発生した低悪性度副腎皮質癌再発の1例

戸沢 智樹¹、石山 公一¹、笹嶋 素子¹、大高いずみ²、山田祐一郎²、南條 博³、
橋本 学¹

秋田大学医学部附属病院 放射線科¹、秋田大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科/老年内科²、
秋田大学医学部附属病院 病理診断科/病理部³

O-57 転移性脾腫瘍術後にびまん性肝浸潤が顕在化したLangerhans cell sarcomaの1例

河合 信行¹、五島 聡¹、野田 佳史¹、川田 紘資¹、棚橋 裕吉¹、今井 寿²、
松井 聡²、松山かなこ³、酒々井夏子⁴、松尾 政之¹

岐阜大学 放射線科¹、岐阜大学 腫瘍外科²、岐阜大学 皮膚科³、岐阜大学 病理診断科⁴

O-58 出血性肝嚢胞に伴って認められた濃染壁在結節の検討

光野 重芝¹、有蘭 茂樹¹、佐藤 敏之¹、中井 浩嗣¹、徳永 幸史¹、大野亜矢子¹、
今峰 倫平¹、川原 清哉¹、清水 大功¹、古田 昭寛¹、山下 力也⁶、広川 侑奨²、
伊藤 剛²、奥村 亮介³、内田洋一郎⁴、寺嶋 宏明⁴、弓場 吉哲⁵、磯田 裕義¹、
富樫かおり¹

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断学・核医学)¹、
独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 放射線科²、
公益財団法人 田臥興風会 医学研究所 北野病院 放射線科³、
公益財団法人 田臥興風会 医学研究所 北野病院 消化器外科⁴、
公益財団法人 田臥興風会 医学研究所 北野病院 病理診断科⁵、
メモリアル・スローン・ケタリング癌センター 放射線科⁶

O-59 壁在結節を認めたために嚢胞腺癌との鑑別を要した出血性肝嚢胞の2例

小林 久人¹、市川新太郎¹、本杉宇太郎¹、渡邊 光章²、細村 直弘²、井上 朋大³、
近藤 哲男³

山梨大学医学部 放射線医学講座¹、山梨大学医学部 山梨大学医学部²、
山梨大学医学部 人体病理学講座³

O-60 肝GISTの1例

安井 一馬、山本 弥生、吉田 哲雄

神奈川県立がんセンター 放射線診断・IVR科

17:05~

閉会の挨拶

ポスター発表 肝臓1

座長 祖父江慶太郎 (神戸大学医学部附属病院 放射線科)

P-1 肝嚢胞内に発生した血瘤腫と考えられた1例

富松 浩隆、吉田 篤志、門場 智也、山田 浩史、上村 尚文、延原 正英、
菅 剛、西本 優子、谷口 尚範、野間 恵之
天理よろづ相談所病院 放射線診断部

P-2 扁平上皮癌への分化を伴った低分化肝細胞癌の1例

田中絵里子¹、竹山 信之¹、大池 信之²、花村祥太郎³、井上 和明³、佐藤 好信⁴、
田代 祐基¹、小竹 晃生¹、永井 京子¹、林 高樹¹、橋本 東児¹
昭和大学藤が丘病院 放射線科¹、昭和大学藤が丘病院 病理診断科²、
昭和大学藤が丘病院 消化器内科³、昭和大学藤が丘病院 外科⁴

P-3 肝血管筋脂肪腫経過観察中に腫瘍内部に肝細胞癌が発生した1例

中川 雅貴、浪本 智弘、清水 紀恵、津田 紀子、坂本 史、白石 慎哉、
山下 康行
熊本大学医学部 放射線診断学講座

**P-4 IFNフリー薬によるC型肝炎ウイルス治療著効後の肝細胞癌発生：
IFN薬との比較**

中村 優子¹、赤木 元紀¹、成田 圭吾¹、本田有紀子¹、立神 史稔¹、馬場 康貴¹、
飯田 慎¹、粟井 和夫¹、城間 紀之²、有廣 光司²
広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 放射線診断学¹、広島大学 病理診断科²

P-5 肝内胆管内腔への乳頭状増殖を伴った肝細胞癌の1例

山本 聖人¹、稲田 悠紀¹、中井 豪¹、山本 和宏¹、中本 篤²、井上 善博³、
栗栖 義賢⁴、鳴海 善文¹
大阪医科大学 放射線医学教室¹、大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座²、
大阪医科大学 一般消化器外科学教室³、大阪医科大学 病理学教室⁴

**P-6 C型慢性肝炎を背景とした肝癌加療後に胆管細胞癌及び神経内分
泌癌への分化を認めた1例**

尾崎 公美^{1,4}、山本 亨¹、池野 宏¹、高橋 美紗¹、水畑 美優¹、波佐谷兼慶²、
海崎 泰治³、吉川 淳¹
福井県立病院 放射線科¹、福井県立病院 消化器内科²、福井県立病院 病理診断科³、
富山市民病院 放射線科⁴

**P-7 拡散強調像で明瞭な高信号を示し、多血性肝転移と鑑別に苦慮した
FNH like noduleの1例**

禹 潤¹、原留 弘樹¹、田島 弘²、井上 久子³、井上 優介¹
北里大学病院 放射線診断科¹、北里大学病院 一般・消化器外科²、北里大学病院 病院病理部³

P-8 若年男性に発症したbeta-catenin活性化型肝細胞腺腫の1例

米田 憲秀¹、北尾 梓¹、小坂 一斗¹、出雲崎 晃¹、小森 隆弘¹、井上 大¹、
蒲田 敏文¹、小林 聡³、山口 貴久²、高村 博之²、太田 哲生²、大坪公士郎⁴、
中村 律子⁵、佐々木素子⁶

金沢大学附属病院 放射線科¹、金沢大学附属病院 肝胆膵移植外科²、
金沢大学附属病院 がんセンター³、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 量子医療技術学講座⁴、
金沢大学大学院医薬保健研究域 医学系 分子細胞病理学⁵、
金沢大学大学院医薬保健研究域 医学系 人体機能病理学⁶

ポスター発表 肝臓2

座長 堀 雅敏 (大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学)

P-9 針生検にて肝MALTomaが疑われたリンパ浸潤性結節の1例

八木 俊洋¹、阿保 斉¹、高 将司¹、水富 香織¹、齊藤 順子¹、望月健太郎¹、
出町 洋¹、中西ゆう子²、石澤 伸²、酒井 明人³

富山県立中央病院 放射線診断科¹、富山県立中央病院 病理診断科²、
富山県立中央病院 消化器内科³

P-10 肝悪性リンパ腫の1例

中尾 聖、田辺 昌寛、伊東 克能
山口大学医学部附属病院 放射線科

P-11 髄外造血によると考えられた肝腫瘤の1例

河合 雄一¹、山田恵一郎¹、村井 淳志¹、富家 未来¹、新井綾希子¹、伊藤 茂樹¹、
藤野 雅彦²

名古屋第一赤十字病院 放射線診断科¹、名古屋第一赤十字病院 病理部²

P-12 続発性Budd-Chiari 症候群を呈した原発性全身性アミロイドーシスの1例

横山 幸太¹、田嶋 強¹、野口 智幸¹、志多 由孝¹、岡藤 孝史¹、堀田 昌利¹、
正木 尚彦²、猪狩 亨³、亀井 俊祐¹、内山 史也¹、中武 裕¹

国立国際医療研究センター病院 放射線診断科¹、国立国際医療研究センター病院 臨床検査室²、
国立国際医療研究センター病院 臨床病理室³

P-13 肝アニサキス症の1例

外園 英光、木戸 歩、八十川和哉、神吉 昭彦、玉田 勉
川崎医科大学 放射線医学 (画像診断1)

P-14 膵頭部癌術後に発症したガス産生肝膿瘍の1例

田中 翔大、丸山 光也、岡村 和弥、上村 朋美、丸山美奈子、荒木 久寿、
荒木 和美、吉田 理佳、勝部 敬、山本 伸子、中村 恩、吉廻 毅、
北垣 一

鳥根大学医学部 放射線科

P-15 胆道出血を契機に発見された多発肝動脈瘤の2例

黒川 浩典、岸 亮太郎、兒島 聡一、山路 早苗
三豊総合病院 放射線 診断 IVR 科

P-16 体質性ICG排泄異常症のGd-EOB-DTPA造影MRI所見

益岡 壮太、那須 克宏、高橋 宏彰、酒井 正史、石黒 聡尚、森 健作、
南 学
筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科

ポスター発表 胆嚢・膵1

座長 市川新太郎 (山梨大学医学部 放射線医学講座)

P-17 黄色肉芽腫性胆嚢炎の2例

中村由香里¹、田嶋 強¹、野口 智幸¹、志多 由孝¹、岡藤 孝史¹、堀田 昌利¹、
竹村 信行²、猪狩 亨³、亀井 俊佑¹、横山 幸太¹、内山 史也¹
国立国際医療研究センター病院 放射線診断科¹、国立国際医療研究センター病院 外科²、
国立国際医療研究センター病院 臨床病理室³

P-18 多隔壁胆嚢の2例

市川新太郎¹、本杉宇太郎¹、渡邊 光章²、細村 直弘²、中澤 匡男³、大西 洋¹
山梨大学医学部 放射線医学講座¹、山梨大学医学部 外科学講座第1教室²、
山梨大学医学部 人体病理学講座³

P-19 膵放線菌症の1例

中井 浩嗣¹、磯田 裕義¹、佐藤 敏之¹、光野 重芝¹、徳永 幸史¹、大野亜矢子¹、
今峰 倫平¹、川原 清哉¹、清水 大功¹、有菌 茂樹¹、古田 昭寛¹、児玉 裕三²、
富樫かおり¹
京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断・核医学)¹、
京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座²

P-20 膵破骨型多核巨細胞退形成癌のCT・MRI所見

福倉 良彦¹、平原 充穂¹、熊谷 雄一¹、内匠 浩二¹、袴田 裕人¹、長野 広明¹、
東 美智代²、吉浦 敬¹
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 放射線診断治療学教室¹、
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 人体がん病理学分野²

P-21 急速増大を示した多形細胞型退形成膵癌の1例

小竹 晃生¹、竹山 信之¹、大池 信之²、永井 京子¹、田中絵里子¹、林 高樹¹、
橋本 東児¹、上原なつみ³、新谷 文崇³、山村 詠一³、長浜 正重³
昭和大学藤が丘病院 放射線科¹、昭和大学藤が丘病院 病理診断科²、
昭和大学藤が丘病院 消化器内科³

P-22 高齢女性に発生した膵芽腫の1例

上村 諒¹、宮川 善浩¹、若宮 誠¹、平良 薫²、東出 俊一²、黒澤 学³
市立長浜病院 放射線科 (診断部門)¹、市立長浜病院 外科²、市立長浜病院 病理診断科³

ポスター発表 膝2

座長 小坂 一斗 (金沢大学附属病院 放射線科)

P-23 嚢胞性腫瘍の形態を呈した膵神経内分泌腫瘍の1例

石山 公一¹、中川 康彦²、山本 雄造²、南條 博³、菅原 真人¹、橋本 学¹
秋田大学医学部附属病院 放射線科¹、秋田大学医学部附属病院 消化器外科²、
秋田大学医学部附属病院 病理部³

P-24 膵管狭窄をきたしたセロトニン産性膵内分泌腫瘍の2例

神吉 昭彦、外園 英光、木戸 歩、玉田 勉
川崎医科大学 放射線科 (画像診断1)

P-25 高齢男性にみられた膵solid pseudopapillary neoplasmの1例

田中 賢一、佐野村隆行、藤本 憲吾、則兼 敬志、奥田 花江、山本 由佳、
西山 佳宏
香川大学医学部 放射線医学講座

P-26 オクトレオスキャンの集積亢進を認めた膵漿液性嚢胞腺腫の1例

紺野 義浩¹、齊藤晋太郎¹、豊口 裕樹¹、鹿戸 将史¹、根本 建二¹、加藤 智也²
山形大学医学部 放射線医学講座¹、山形大学医学部 病理診断学講座²

P-27 術前画像診断に苦慮した膵Invasive intraductal papillary mucinous carcinomaの1例

高司 亮¹、山田 康成¹、清永 麻紀¹、松本 俊郎¹、森 宣¹、平下禎二郎²、
太田 正之²、猪股 雅史²、泥谷 直樹³
大分大学医学部 放射線医学講座¹、大分大学医学部 消化器・小児外科学講座²、
大分大学医学部 分子病理学講座³

P-28 膵管内粘液腺癌の総胆管穿破により閉塞性黄疸を来した1例

田代 祐基¹、宗近 次朗¹、西村 恵美¹、中村 優太¹、山田 愛弓¹、長谷川春菜子¹、
溝渕 有哉¹、高濱 典嗣¹、阿部 亮介¹、染谷有美子¹、宮上 修¹、波多野久美¹、
石塚久美子¹、扇谷 芳光¹、後閑 武彦¹、宇佐美智之²、野本 朋宏²、楯 玄秀³、
田澤 咲子³
昭和大学病院 放射線科¹、昭和大学 消化器内科²、昭和大学 臨床病理診断科³

P-29 嚢胞が顕在化する過程を追えた膵内副脾由来のepithelial cystの1例

田村 明生¹、加藤 健一¹、石田 和之²、小穴 修平³、斎藤 慎二³、長谷川 康⁴、
新田 浩幸⁴、鈴木 智大¹、曾根 美都¹、鈴木美知子¹、中山 学¹、江原 茂¹
岩手医科大学医学部 放射線医学講座¹、岩手医科大学医学部 病理診断学講座²、
岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科消化管分野³、岩手医科大学医学部 外科学講座⁴

P-30 胃原発平滑筋肉腫の1例

池田 賢司¹、里上 直衛¹、藤本 良太¹、河村美由紀²、増尾 彰彦³、細木 久裕³、
岩佐 葉子⁴

京都市立病院 放射線診断科¹、京都市立病院 消化器内科²、京都市立病院 消化器外科³、
京都市立病院 病理診断科⁴

P-31 卵巣腫瘍との鑑別を要した巨大な多胞性嚢胞性胃リンパ管腫の1例

有田 祐起^{1,2}、相馬 崇宏¹、松本 秀樹¹、伊東 良晃^{1,2}、喜多 和代¹、小黑 草太^{1,2}、
鈴木 和代¹、大野 暁子³、近藤 崇之⁴、村田 有也⁵、樋口 順也^{1,2}

国立病院機構 東京医療センター 放射線診断科¹、慶應義塾大学医学部 放射線診断科²、
国立病院機構 東京医療センター 産婦人科³、国立病院機構 東京医療センター 外科⁴、
国立病院機構 東京医療センター 病理検査科⁵

P-32 小網原発巨大GISTの1例

竹口 崇¹、村田 真央¹、岩村 卓明¹、原井川豊章¹、福井 聡¹、松影 昭一²
市立宇和島病院 放射線科¹、市立宇和島病院 病理診断科²

P-33 小腸GISTにおける早期静脈還流 —その他の小腸腫瘍との比較—

井上 明星^{1,2}、大田 信一²、佐藤 滋高²、渡辺 尚武²、村田喜代史²、園田 寛道³、
清水 智治³、谷 眞至³、伴 宏充⁴、稲富 理⁴、安藤 朗⁴、九嶋 亮治⁵

東近江総合医療センター 放射線科¹、滋賀医科大学 放射線医学講座²、
滋賀医科大学 消化器外科³、滋賀医科大学 消化器内科⁴、滋賀医科大学 病理診断科⁵

P-34 小腸平滑筋腫の1例

松田 恵¹、津田 孝治¹、田中 宏明¹、望月 輝一¹、垣生 恭祐²、松野 裕介²、
石丸 啓²、渡辺 祐司²、竹内 一人³、倉田 美恵⁴、北澤 理子⁴

愛媛大学医学部放射線科 放射線科¹、愛媛大学医学部 消化器腫瘍外科²、
愛媛大学医学部附属病院 腫瘍センター³、愛媛大学医学部附属病院 病理部⁴

P-35 重症筋無力症を合併した小腸間膜濾胞樹状細胞肉腫の1例

星合 壮大¹、那須 克宏¹、森 健作¹、檜山 貴志¹、宮坂 祐輔¹、野原誠太郎²、
石井 一弘²、玉岡 晃²、北口 大地³、久倉 勝治³、佐藤 泰樹⁴、南 学¹

筑波大学附属病院 放射線診断・IVR科¹、筑波大学附属病院 神経内科²、
筑波大学附属病院 消化器外科³、筑波大学附属病院 診断病理⁴

P-36 腸間膜デスモイド腫瘍と血管

平塚真生子¹、松枝 清¹、杉浦 善弥²、河野 敦¹

がん研有明病院 画像診断部¹、がん研有明病院 病理部²

ポスター発表 消化管・腸間膜・腹腔2

座長 市川 珠紀 (東海大学医学部 専門診療学系画像診断学)

P-37 腸結石を伴った小腸クローン病の1例

松田 恵¹、津田 孝治¹、田中 宏明¹、望月 輝一¹、石丸 啓²、渡部 祐司²、
八木 専³、竹下 英次³、日浅 陽一³、北澤 理子⁴、北澤 莊平⁴
愛媛大学医学部放射線科 放射線科¹、愛媛大学医学部 消化器腫瘍外科²、
愛媛大学医学部 第3内科³、愛媛大学医学部附属病院 病理部⁴

P-38 回腸重複腸管の異所性腭炎と考えられた1例

田中 義和、濱田 貴光、山本 聖人、重里 寛、中井 豪、山本 和宏、
鳴海 善文
大阪医科大学 放射線医学教室

P-39 腸重積、卵巣転移を呈した空腸癌の1例

岡 大雅¹、上田 高顕²、前田 祥成³、村上 知之⁴
関門医療センター 総合診療部¹、関門医療センター 放射線科²、関門医療センター 外科³、
関門医療センター 病理診断科⁴

P-40 門脈ガスを伴った虫垂憩室炎の1例

辻 悠佑、後藤眞理子、北口 知明、田中 匡、山田 恵
京都府立医科大学 放射線診断治療学講座

P-41 繰り返すEMR後に粘膜下嚢胞性腫瘤として偶発的に発見されたS状結腸癌の1例

山内 哲司¹、廣橋 里奈²、三浦 佑子²、甲川佳代子²、古市 欣也²、田中いずみ³、
米田 浩二⁴、宮本 好晴⁴、廣瀬 善信⁵、丸上 永晃¹、吉川 公彦¹
奈良県立医科大学 放射線科¹、大阪府済生会吹田病院 放射線科²、
大阪府済生会吹田病院 消化器内科³、大阪府済生会吹田病院 消化器外科⁴、
大阪医科大学 病理学教室⁵

P-42 骨形成性直腸癌の1例

松浦 智徳¹、佐谷 望¹、加賀谷由里子¹、田村 亮¹、深谷佐智子²、村上 一宏²、
中村 保宏²、小山 周樹¹
東北医科薬科大学病院 放射線科¹、東北医科薬科大学病院 病理診断科²

P-43 tailgut cystから発生したカルチノイドの1例

西岡 友佳、山田 香織、乾 貴則、赤路佑希子、喜馬 真希、寺山 耕司、
藤田 正人
京都第二赤十字病院 放射線診断科

P-44 嫌気性菌感染による気腫性腹膜炎の1例

鈴木美奈子¹、藤井 佳美¹、板橋健太郎¹、西村有理恵¹、塚本 浩¹、酒井 淳²
藤沢市民病院 放射線科¹、藤沢市民病院 外科²

P-45 特徴的画像所見を呈した被嚢性腹膜硬化症 (Abdominal cocoon) の2例

佐藤 滋高¹、園田 明永¹、大田 信一¹、新田 哲久¹、村田喜代史¹、宮川 善浩²、
若宮 誠²、廣瀬 朋宏³、古市 健治³
滋賀医科大学 放射線科¹、市立長浜病院 放射線科診断部門²、済生会野江病院 放射線診断科³

P-46 播種性筋腫の1例

加藤恵里奈¹、榊原 宏幸¹、渋谷 里絵²、大槻 健郎³、長沼 廣²、津田 雅視¹
仙台市立病院 放射線科¹、仙台市立病院 病理診断科²、仙台市立病院 産婦人科³

P-47 悪性腹膜中皮腫の1例

八十川和哉、神吉 昭彦、外園 英光、山本 亮、玉田 勉
川崎医科大学 放射線科

P-48 炎症性疾患を原因とする腸間膜静脈血栓症の4例

土屋 洋輔¹、水沼 仁孝²
国立がん研究センター東病院 放射線科¹、那須赤十字病院 放射線科²

P-49 Segmental arterial mediolysis (SAM) による中結腸動脈破裂を来した1例

麓 佳奈子¹、金崎 周造¹、安岡 貴之²、山口 真彦³、下川 伶子⁴
康生会武田病院 放射線科¹、康生会武田病院 消化器内科²、康生会武田病院 外科³、
康生会武田病院 病理科⁴

P-50 両側腎腫瘍を契機にBirt-Hogg-Dubé症候群が疑われた1例

田辺 昌寛、中尾 聖、伊東 克能
山口大学医学部 放射線科

P-51 腎盂原発悪性リンパ腫の1例

前原 陽介¹、佐藤 修²、長澤 慎介¹、安部 真由¹、金森千佳子¹、伊藤 誠明¹、
森下 博之¹、大野 浩司¹、浦田 洋二³、三神 一哉⁴
京都第一赤十字病院 放射線科¹、京都府立医科大学北部医療センター 放射線科²、
京都第一赤十字病院 病理診断科³、京都第一赤十字病院 泌尿器科⁴

P-52 胸膜転移をきたした類上皮型腎血管筋脂肪腫の1例

永藤 唯¹、市川 珠紀¹、陣崎 雅弘²、山室 博¹、中島 信幸³、岡松千都子⁴、
中村 直哉⁴、今井 裕¹、岡崎 隆¹、山下 智裕^{1,5}

東海大学医学部 専門診療学系画像診断学¹、慶應義塾大学医学部 放射線科学教室²、
東海大学医学部 外科学系泌尿器科³、東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学⁴、
伊勢原協同病院 放射線科⁵

P-53 IgG4関連疾患腎臓病の1例

塚本 純¹、林田 佳子¹、山口 晋平¹、青木 隆敏¹、藤田 悠哉²、中野 和久²、
津田陽二郎³、久岡 正典³、興梠 征典¹

産業医科大学医学部 放射線科学¹、産業医科大学 第一内科²、産業医科大学 病理診断科³

P-54 術前診断が困難であった副腎血管肉腫の1例

宮崎 亜樹¹、上野 嘉子¹、田中宇多留¹、祖父江慶太郎¹、高橋 哲⁴、日向 信之²、
藤澤 正人²、原 重雄³、藤倉 航平³、伊藤 智雄³、村上 卓道¹

神戸大学 放射線科¹、神戸大学 泌尿器科²、神戸大学 病理診断科³、
高槻病院 イメージングリサーチセンター⁴

P-55 副腎原発顆粒膜細胞腫の1例

西岡 真美、田中 賢一、則兼 敬志、佐野村隆行、西山 佳宏

香川大学医学部 放射線医学講座

P-56 画像診断が鑑別に有用であった副腎線種由来のChronic expanding hematoma (CEH) の1例

欠田真理子¹、柏木 栄二¹、山川 美帆¹、國富 裕樹¹、喜久山綾乃¹、甲田真由子¹、
杉原 英治¹、村田 昌之¹、川本 誠一¹、伏見 博彰²、小松 久晃³、柏崎 正樹³

大阪急性期総合医療センター 画像診断科・IVRセンター¹、
大阪急性期総合医療センター 病理科²、大阪急性期総合医療センター 消化器外科³

P-57 副腎梗塞を来した全身性エリテマトーデス合併抗リン脂質抗体症候群の1例

岡 祥次郎¹、尾谷 知亮¹、福本 元気¹、大西 康之¹、松原菜穂子¹、川端 和奈¹、
金柿 光憲¹、木村 弘之¹、市川 晋也²、阿部 京介²、蔭山 豪一²

兵庫県立尼崎総合医療センター 放射線診断科¹、
兵庫県立尼崎総合医療センター 膠原病リウマチ内科²

ポスター発表 泌尿器・その他

座長 竹内 充 (ラジオロネット東海)

P-58 膀胱Endosalpingiosisの1例

石山みず穂¹、荒川 文敬¹、日野 祐資¹、長坂 康弘²、前田 宣延³

富山赤十字病院 放射線科¹、富山赤十字病院 泌尿器科²、富山赤十字病院 病理診断科³

P-59 前立腺粘液腺癌の1例

木戸 歩¹、外園 英光¹、八十川和哉¹、神吉 昭彦¹、鹿股 直樹²、玉田 勉¹
川崎医科大学 放射線医学（画像診断1）¹、川崎医科大学附属病院 病院病理部²

P-60 前立腺粘液癌のMRI所見の検討

山田 香織¹、藤田 正人¹、松浦 莉加²、小澤 奈々²、永野 仁美²、山田 恵²
京都第二赤十字病院 放射線診断科¹、京都府立医科大学 放射線診断治療学²

P-61 Cowper腺由来低悪性度病変の1例

塚部 明大¹、矢野 圭吾¹、佐藤 行永¹、田中淳一郎¹、前田 登¹、澄川 裕充¹、
酒井 美緒¹、中西 克之¹、長田 盛典²、西村 和郎³

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR科¹、
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 病理診断科²、
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 泌尿器科³

P-62 Target signを呈した陰嚢内神経鞘腫の1例

立入 哲也¹、丸上 永晃²、高濱 潤子¹、平井都始子²、吉川 公彦¹、藤本 清秀³、
畠山 金太⁴

奈良県立医科大学附属病院 放射線科¹、奈良県立医科大学附属病院 総合画像診断センター²、
奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科³、奈良県立医科大学附属病院 病理診断学講座⁴

P-63 家族性大腸腺腫症（FAP）を背景とした精巢セルトリ細胞腫の1例

山根 彩¹、一色 彩子¹、橘和 聡文¹、市川 太郎¹、金城 忠志²、竹ノ下尚子²、
許田 典男³、木全 亮二⁴、田島 廣之²

日本医科大学武蔵小杉病院 放射線科¹、
日本医科大学武蔵小杉病院 血管内・低侵襲治療センター²、
日本医科大学武蔵小杉病院 病理診断科³、日本医科大学武蔵小杉病院 泌尿器科⁴

P-64 巨大ミューラー管嚢胞の1例

中本 篤¹、堀 雅敏¹、大西 裕満¹、巽 光朗¹、太田 崇詞¹、福井 秀行¹、
藤田 和利²、堀 由美子³、富山 憲幸¹

大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学講座¹、大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科学講座²、
大阪大学大学院医学系研究科 病理病態学講座³

P-65 若年女性外陰部から懸垂性に発育したaggressive angiomyxomaの1例

廣橋 里奈¹、山内 哲司²、三浦 裕子¹、甲川佳代子¹、古市 欣也¹、當内 竜馬³、
竹内 篤⁴、吉川 公彦²

大阪府済生会吹田病院 放射線科¹、奈良県立医科大学 放射線科²、
大阪府済生会吹田病院 形成外科³、大阪医科大学 病理診断学教室⁴

P-66 外陰部に発生したperivascular epithelioid cell tumor (PEComa) の1例

野田 健仁¹、神道 太輔¹、小山 孝一¹、下野 太郎¹、橋口 裕紀²、桑江 優子³、三木 幸雄¹

大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学¹、
大阪市立大学大学院 医学研究科 女性病態医学²、
大阪市立大学大学院 医学研究科 診断病理・病理病態学³

ポスター発表 後腹膜

座長 扇谷 芳光 (昭和大学医学部 放射線医学講座)

P-67 後腹膜に発生した粘液性嚢胞腺癌の1例

溝口 圭輔¹、角 明子¹、長田 周治¹、田上 秀一¹、東南 辰幸¹、内藤 嘉紀²、末金 茂高³、内田 政史⁴、安陪 等思¹

久留米大学医学部 放射線医学講座¹、久留米大学病院 病理診断科²、
久留米大学医学部 泌尿器科学講座³、久留米大学医療センター 放射線科⁴

P-68 後腹膜原発Ewing's sarcomaの1例

八木 琢也²、吉村 宣彦¹、山崎 元彦²、青山 英史²

新潟大学医歯学総合病院 放射線部¹、新潟大学医歯学総合病院 放射線診断科²

P-69 後腹膜に発生した孤立性mantle cell lymphomaの1例

清永 麻紀¹、高司 亮¹、山田 康成¹、松本 俊郎¹、森 宣¹、河野 洋平²、岩下 幸雄²、太田 正之²、猪股 雅史²、泥谷 直樹³、守山 正胤³

大分大学医学部 放射線医学講座¹、大分大学医学部 消化器・小児外科学講座²、
大分大学医学部 分子病理学講座³

P-70 脂肪成分を伴った後腹膜神経節細胞腫の1例

山口 健¹、中園 貴彦¹、江頭 玲子¹、行元 美希¹、柿木 寛明²、有働 和馬²、芥川 剛至³、入江 裕之¹

佐賀大学医学部 放射線科¹、佐賀大学医学部 泌尿器科²、佐賀大学医学部 病理³

P-71 多発リンパ節転移を来した良性平滑筋腫の1例

稲村 健介^{1,2}、小林 達伺²、久野 博文²、檜山 貴志²、大熊 正剛²、楠本 昌彦²

獨協医科大学 放射線医学講座¹、国立がん研究センター東病院 放射線診断科²

P-72 拡張した下大静脈を取り囲んだ巨大後腹膜Calcifying fibrous tumorの1例

加藤 博基¹、五島 聡¹、松尾 政之¹、木村 真樹²、村瀬 勝俊²、土井 潔²

岐阜大学医学部 放射線科¹、岐阜大学医学部 高度先進外科²

P-73 演題取り下げ

P-74 子宮漿膜に内膜症を基盤として発生した腺肉腫

中矢 泰裕¹、沢井 ユカ¹、山崎 大²、三好 愛³、横井 猛³
市立貝塚病院 放射線科¹、市立貝塚病院 病理部²、市立貝塚病院 産婦人科³

P-75 子宮筋腫から発生したと考えられた子宮平滑筋肉腫の1例

藤井 進也¹、津田 正喜¹、椋田奈保子¹、野坂 加苗²、福永 健¹、小川 敏英¹
鳥取大学医学部 放射線科¹、鳥取大学医学部 器官病理学²

P-76 子宮頸部神経内分泌癌の3例

杉本 倫子¹、小山 孝一¹、下野 太郎¹、橋口 裕紀²、市村 友季²、桑江 優子³、
三木 幸雄¹
大阪市立大学医学部 放射線診断学・IVR学¹、大阪市立大学医学部 女性病態医学²、
大阪市立大学医学部 診断病理・病理病態学³

**P-77 子宮内膜間質結節か低悪性度子宮内膜間質肉腫か、病理診断が難
渋した1例**

大澤まりえ¹、田村 綾子¹、建部 祥帆¹、小坂 哲也¹、古賀 久雄¹、柳澤 愛実²、
大野 智子²、塩津 英美²、天野 与稔³
東京北医療センター 放射線科¹、東京北医療センター 産婦人科²、
東京北医療センター 病理診断科³

P-78 結節性硬化症を背景とする患者に認められた子宮病変4例の検討

西尾 直子¹、木戸 晶¹、木口 佳代¹、矢嶋 諒¹、桑原 遼¹、中尾 恭子¹、
倉田 靖桐¹、南口早智子²、万代 昌紀³、南 学⁴、富樫かおり¹
京都大学医学部附属病院 放射線診断科¹、京都大学医学部附属病院 病理診断科²、
京都大学医学部附属病院 産科婦人科³、筑波大学医学部附属病院 放射線診断科⁴

P-79 腹腔鏡下子宮全摘術後に生じた卵巣捻転の2例

松井 謙、小坂 康夫、山田 陽子、山田 篤史、高橋 孝博、左合 直
福井赤十字病院 放射線科

P-80 長期経過にて緩徐な増大を示した卵巣良性Brenner腫瘍の1例

原 拓也¹、市川 珠紀¹、田中優美子²、永藤 唯¹、山下 智裕³、池田 仁恵⁴、
梶原 博⁵、今井 裕¹
東海大学医学部 専門診療学系画像診断学¹、がん研有明病院 放射線科²、
伊勢原協同病院 放射線科³、東海大学医学部 専門診療学系産婦人科⁴、
東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学⁵

P-81 強い石灰化を伴った悪性ブレンナー腫瘍の1例

高田 章代¹、堀越 琢郎¹、雑賀 厚至¹、太田 昌幸²、錦見 恭子³、松岡 歩³、
生水真紀夫³、宇野 隆⁴
千葉大学医学部附属病院 放射線科¹、千葉大学医学部附属病院 病理診断科²、
千葉大学医学部附属病院 産婦人科³、千葉大学大学院医学研究院 画像診断・放射線腫瘍学⁴

ポスター発表 卵巣2

座長 武輪 恵 (奈良県西和医療センター 放射線科)

P-82 膵癌術後卵巣転移の1例

湯浅 憲章¹、安部 智之²、前田 征洋²、東海林安人³、仙丸 直人³、恐神 博行⁴、
藤田 美俐⁵

製鉄記念室蘭病院 放射線科¹、製鉄記念室蘭病院 消化器・血液腫瘍内科²、
製鉄記念室蘭病院 外科³、製鉄記念室蘭病院 産婦人科⁴、製鉄記念室蘭病院 病理臨床検査室⁵

P-83 内膜症性嚢胞由来の悪性腫瘍との鑑別が困難であった転移性卵巣腫瘍の1例

徳永 伸子¹、山本 雄太¹、細川 浩平¹、桐山 郁子¹、清水 輝彦¹、酒井 伸也¹、
菅原 敬文¹、藤本 悦子²、竹原 和宏²、寺本 典弘³

四国がんセンター 放射線診断科¹、四国がんセンター 婦人科²、四国がんセンター 病理科³

P-84 妊娠後期に認められたKrukenberg tumorの1例

堀内 克俊、高濱 潤子、岡田 博司、丸上 永晃、伊藤 高広、平井都始子、
吉川 公彦

奈良県立医科大学 放射線科

P-85 高アンドロゲン血症を呈した転移性卵巣癌の1例

元島 成信¹、藤川 梨恵¹、河村 京子¹、熊谷 晴介¹、中山 正道²、大藏 尚文¹
小倉医療センター 産婦人科¹、小倉医療センター 病理診断科²

P-86 両側卵巣線維腫症に境界悪性類内膜腺線維腫を合併した1例

竹内麻由美¹、松崎 健司²、坂東 良美⁴、西村 正人³、門田 友里³、米田亜樹子⁴、
原田 雅史¹

徳島大学医学部 放射線科¹、徳島文理大学 診療放射線学科²、徳島大学医学部 産婦人科³、
徳島大学病院 病理部⁴

P-87 卵巣硬化性間質腫瘍 (SST) のMRIとPET-CTにおける画像の多様性

松谷 裕貴¹、中井 豪¹、佐藤 登朗¹、山田沙和香¹、船越 麻衣¹、山田 隆司²、
山本 和宏¹、鳴海 善文¹

大阪医科大学 放射線診断科¹、大阪医科大学 病理診断科²

P-88 卵巣血管平滑筋腫の1例

森田 有香、伊良波裕子、村山 貞之

琉球大学医学部附属病院 放射線科

P-89 嚢胞変性とFDG集積亢進を生じた莢膜細胞腫の1例

山本 雄太¹、細川 浩平¹、徳永 伸子¹、桐山 郁子¹、清水 清水¹、酒井 伸也¹、
菅原 敬文¹、横山 貴紀³、竹原 和宏³、寺本 典弘²
四国がんセンター 放射線診断科¹、四国がんセンター 病理科²、四国がんセンター 婦人科³

P-90 成人発症の卵巢若年型顆粒膜細胞腫の1例

稲田 悠紀¹、中井 豪¹、松谷 裕貴¹、田中 義和¹、山本 聖人¹、山本 和宏¹、
山田 隆司²、鳴海 善文¹
大阪医科大学 放射線医学教室¹、大阪医科大学 病理学教室²

クイズ展示 5月25日(金)

- Q-1** 愛知医科大学 放射線医学講座¹、愛知医科大学病院 消化器外科講座²、
愛知医科大学病院 病理学講座³
山本 貴浩¹、鈴木耕次郎¹、泉 雄一郎¹、勝田 英介¹、木村 純子¹、太田 豊裕¹、
石口 恒男¹、大澤 高陽²、駒屋 憲一²、佐野 力²、高橋恵美子³、都築 豊徳³
- Q-2** 手稲溪仁会病院 放射線診断科¹、手稲溪仁会病院 消化器内科²、手稲溪仁会病院 外科³、
手稲溪仁会病院 病理診断科⁴
児玉 芳尚¹、櫻井 康雄¹、金 俊文²、真口 宏介²、高田 実³、大森 優子⁴
- Q-3** JCHO北海道病院 放射線診断科
杉浦 充
- Q-4** 京都第二赤十字病院 放射線科
乾 貴則、山田 香織、西岡 友佳、赤路佑希子、喜馬 真希、寺山 耕司、
藤田 正人
- Q-5** 社会医療法人 恵佑会札幌病院 放射線診断科¹、社会医療法人 恵佑会第2病院 消化器内科²、
社会医療法人 恵佑会札幌病院 消化器外科³、社会医療法人 恵佑会札幌病院 病理診断科⁴
小野寺祐也¹、小池 容史²、久須美貴哉³、佐々木邦明³、澄川 宗祐³、大内 知之⁴、
武内 利直⁴
- Q-6** 千葉大学医学部附属病院 放射線科¹、千葉大学医学部附属病院 病理診断科²、
千葉大学医学部附属病院 小児外科³、千葉大学大学院医学研究院 画像診断・放射線腫瘍学⁴
羽柴 淳¹、窪田 吉紘¹、高田 章代¹、雑賀 厚至¹、堀越 琢郎¹、神戸美千代²、
照井 慶太³、吉田 英生³、宇野 隆⁴
- Q-7** 琉球大学医学部 放射線診断治療学講座¹、琉球大学医学部附属病院 産婦人科²、
琉球大学医学部附属病院 第二内科³、琉球大学医学部附属病院 腫瘍病理科⁴
伊良波裕子¹、森田 有香¹、渡口 真史¹、若山 明彦²、仲地佐和子³、玉城 剛一⁴、
村山 貞之¹
- Q-8** 公立甲賀病院 放射線科¹、公立甲賀病院 産婦人科²、滋賀医科大学 病理学講座³
井本 勝治¹、山本 敦子¹、山崎 道夫¹、小林 昌²、伊藤 靖³、坂本 力¹
- Q-9** 防衛医科大学校病院 放射線科¹、防衛医科大学校病院 検査部²、防衛医科大学校病院 総合臨床部³
畑中 勇輝¹、曾我 茂義¹、岡野 孔亮¹、吉川 裕紀¹、見越 綾子¹、中森 貴俊¹、
須山 陽介¹、富田 浩子¹、河野 貴子²、瀬尾 麻理³、新本 弘¹